萬寶山の暴民内訌

一日哈大洋一元宛の買收金を

首謀者が着服した為

馬廠口にて

南里特派員區一

ある、なほな民党戦金も大部分は「塩助用柳條は一車にして滿々たる」だ、長科に身を際してる、機能で「すれば極めて紅神であつた、職に下の古課者十四名は農氏を捨て遊」でに減水をしたから工事の上から

いし婦化し居らざる鮮農は居住を許さずとて暴行を加へたので約二十名支南部総職権職所住機監約三百五十名に對して六日機支那官部に突岐省以府の命令なり

長希聖徳官の同情的援助により大震には堪へ得ない事業であるため 震には堪へ得ない事業であるため であるためをいるという。

東支南部線陶賴昭で

も支

然し程共の構造問題、構造

、経運運動の實際がごん れも揺かれるさいふよりもはの の新聞社、婦人食であるが、

例に洩れない。 代に機能が経 婦人会、新聞

で持ちかけて 然しス場者は少くさも、な

種蒔くもの

学数四百名しか入場者がなかつ

あった。他つ

八月發表の

陸軍異動

東亞の謎。

二千四五百名

総し入場者は少くさも、修御に関する巡覧をはからから、 ・ り、管解よろしきを得たいめ、 ・ や市は残綻、繋下を通じて奥線 がでは、十二分に目底を選する。

入場料をさつ を入れ、糖味きの仕事をして、どて他人の所有である不老地に、だて他人の所有である不老地に、 ではないはれながら、いばいからに傷つきながら、資本を工能しては極を聴くのだから、 れは所有者に任せて。

保護の下には脚車二部にアンベラー智が三十名は投資除さして日本人五日午後七時代ごろわが終第四名一その他の材料を満載して味着した 附縁ひ五日夜か六日未明に來る等

明朝機川御陳に動味の摩底である。一後一時廿七分數宮急行にて京都へ

をできます。また、日本の野には見聴えがなかった。 地補の延人就は二千四、五百名に その野には見聴えがなかって。 地補の延人就は二千四、五百名に その野には見聴えがなかって。 が、その眼は鋭くて、刺すやうが、その眼は鋭くて、刺すやうが、その眼は鋭くて、刺すやうが、その眼は鋭くて、刺すやうが、その眼には見聴えがなかった。

彼女は実し薄着いて来た。 さ、その時頭のがで、鍵を外す さ、その時頭のがで、鍵を外す がの実に脳の女であった。 学子は然いで騙を起しかけた。

・【東京六日登】本年度陸軍定斯大 典誠はいよく、東月一日登表され あこせに決定したが、邀級保命、

善きフラツバー (五)

伊藤順三

史

內田總裁夫人

和歌ーへ急行

對支懸案の交渉 仕事するには人を知る事が第 しは駄目

內田滿鐵總裁車中

解り小河の後宿志の版画を受け年 | 令ふはで解告申し上げ、年後家時半底館に 海津の脈 海津の脈

さの噂を然方

陸軍々革は全部

牛度に延期か

大蔵省の主張如何で

る、郷崎氏に各方面に城にを監視 城に赴いたが行脈破地にされてる 城に赴いたが行脈破地にされてる

馮氏運城へ

さする程度の要求をなすものされたい

▲海邊友松氏(旅順軍喇兵大隊長) 防空旗響に関する御職挨拶のた め六日各方面原紡

るの止むなきに至ったさて五日午後三時代表をハルピン日本領事館に派遣し救源方を依頼に播稿が終へたが最近附近の支那農民二十名のため水路を破壊され、今年の農作を 沢 実す(ハルビン特量六日登) 黒龍江省級沙縣姜樂橋四合屯の鮮農四十名 は従来永田を經療と今年も

侵絶望となる

農三百五十名に

退去を强制

けさ神宮に奉告

即源さして松出し

によって生でる差がまたは着手年度 本では、たいかでは、これがため殿軍高殿が、か、る要求に繋がる、これがため殿軍高殿が、か、る要求に繋がることは國際を振く部としてゐる。 大殿省側でもつて炉がにしてるるを変なを批がの全部を概念をは、原心とてゐるをでも、大殿省側でもの文がをは、原心とてゐるをは、原心とは、原心となる。 出づるものさ見られてゐる

日標をきめて英米各國公使が単 以きんのお見舞伺候をする、日本

蛇角

師團移駐に反對

何虚のばが?

お月さんの風が。

浦銀回收の交渉を始め そうな

0

れの腹が?単良さんの腹は目下軽天交渉を形定へ題す腹がある

て居るのだが。

阪東店優得の賞品別にあり

京都、宇都宮兩地で

が対対を対対では、京 京城教伝の課定である 京城教伝の課定である 京城教伝の課定で出登十六日 合同大會に

缺席の事情 大山郁夫氏談

無總督

0 0

無無機器骸は粒・の無壓點合同大會には自宅に膨端。は海崎人熟用だそうで、。 「東京六日数」大山都大氏は五日 数學以上、出來た、そのホルモンの協文でまた一人の好

には二人共命のものが大蛇ひさいふこさになれば、瞬さらには二人共命のものが大蛇ひさいふこさになれば、瞬さらには二人共命のものが大蛇ひさいふこさを知つての上の、誘指でには二人共命のものが大蛇ひさいふこさを知つての上の、誘指で もピールの後に下別をするんで い性様かしてぬるさいふこさか。 自分が称くて美観であって、よい性様かしてぬるさいふこさか。 は一般の身分を知つてぬて、それで もしない。 もし然うなら却つて可いと思つ

「大ならげ観報さ呼びますか」 「大ならげ観報さ呼びますか」

能権をが見

☆・・ 「近ごろ浴

くぎは自分のとなって、かきなくをうだ願かとやって来たら、す

すの」 女は然うぶつて歌笑したが、そ

本欄特別廣告一手扱 大阪今梅

第一廣告

し悪臭いるイ

マッ芳香油

ドプ貝でお祝ひ馳走

慰問の酒で

日中か要するものとみらられ

題の中心であった地

言官隊の信號

いと休

「電分で」 「飲分て、だつて、何ういふ意味 うに云った。

「人質にお取られなさいましたの「人質に対して云ふのは既だつた。それで蹴って好の鍵を見詰めた。 「でもご心配なさいますな、能分は大丈夫でございますから」 ろもいせいふ典様なのでございま 「お児様さへご単知なされば、よ 「わゝ、矢つ殴り

勝拐されたに相当ないさ、洋子

のツマイ品許特大四 落ちて死んで居まずから掃き出せばよろしい。こ遠布して、十分程すれば、縄収粉の香の賃に掘る間に紙を附め切つて、室内の空中へ縄収粉をご ▲蠅を全滅さす法 昭和六年十一月下旬新聞紙上にて殷表正辨者を大朝。 大海吐負立食最正抽籤 昭和六 年十月三十一日 陽

虫の帰除剤イマツ蠅取粉 害虫の眼除刺イマツ殺虫劑 いらかてイマツ蚊取線香

たから直接虫の体にかける必要は、絶対にありません。 類には縁瓦斯同様に働いて、虫類を全滅さすのです。 は一様を表情である。 本書・瓦・斯・の・働き

一人で何枚にてよ

市三寸、長ヶ五寸位の紙に、答案を記し市三寸、長ヶ五寸位の紙に、答案を記しない。イマツ蝦取粉、イマツ駅のイマツの文字。イマツ紫香油は大中袋のイマツの文字。イマツ紫香油は大中袋のイマツの大字。イマツ紫香油は大中袋のイマツの大字。イマツ紫香油は大中袋のイマツの大字。イマツ紫香油は大中袋のイマツの大字、用紙一枚に何れにても一枚宛貼り全部で、大名

●答案の出し方 ざんな働きをするか

宮内の蠅はどうなるか エイマツ蝿取粉を室を閉 題一二イマツ蝿取粉の香氣は

「それ、お解りになりませんの

一姿、どうしたいでございませる

さ、洋子は楽画に云つた。

特專 許賣 縣

も苦勢なした女さ見え、表似に除女は随分美しいがであつた。で女は随分美しいがであつた。で

しい所があった。
「さぞお願きでございませうれ」

ていった。よろしいのでこさいましてのちつしやい。「寒に

さうその女はぶひ乍ら、椅子の

は有りません人助けている場所の悪草優別では発して心配せずまく美の方は決して心配せずまく美の方は決して心配せずまく美の方は決して心配せずまく美の方は決して心配せずまりません人助け

砂 ◆ 全治謝恩廣

元祖 **桃山 農** 平相資栽培家内售無代道

儲。松茸蜂栽培

山口縣佐放都防府町宮市太平町三丁目井一門モョヘ三十三はり

無代の試藥の偉力

ン氏は皇帝陛下の御親電により引

駐支各國公使

長館木肚六大路に決定した

剿匪軍活動

學良氏か見舞ふ

は無量小學校の無量

聖徳校講堂で

給料不拂で紛糾する

人港船上不穩文書

大洋が苦力を發狂させた話

置さいた。

脱をつけた犯人の連締、家宅捜査 に司法が事は松井豊部の指揮で配

檢證 李押野前日

国際勝つ 沿級遠征中の國

楽切庖丁を提げて保護願ひ

製二名を引き連れて削燥人管練の興機中

自光りのする大洋が自分のものさ

天衛隊院

鼻病

良藥源療鼻湯

大連信濃町市

通四五二〇

心

帝王の煙草

つたがたま

浦鹽から來た遠江丸

祝宴を開く

厚東司令官から挨拶

個別支配長は臨る減まで出級銀金のうへ概念側の監督を本部銀行電するころあつたが、本級側では、 であて飛ぎ放棄組分で入港したさ隣し直に大平常規組合大連支配にこれが軽後監査を検修して来た。 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、大月十二日滞動を出税場所に機能を振むに行き廻しく大連に入港したもので判断、 では、日本に、大月十二日滞動を出税を外付整当氏とは大連後膨胀者の過びで低い整合となる。

に乗つた周城のために流れ

馬販の動し乗り

鮨屋夫婦と板場

物慘殺

今曉奉

大春日町

を滅多打ち

名の馬州の一脚が強式の

遺難した

愈よ今夜から開場の

沙河口の納凉園

灘風危險

空の脅威は完全に除去されて潰滅の戦禍かにわが防衛部隊の決死的奮闘と三十萬市民兵式を最期として無事終了の幕を閉ぢた、国、大大連の天地を震駭せしめた始めての 譚家屯廣場



口氏壯學

機関家妹沈婆歌戲へ就の全庫児湖 情報によって総性の正確なる他と 活動によって総性の正確なる他と 活動によって総性の正確なる他と

事部本間頻官の手で下

高

無効さし、原告の利息

な振ふこととなった を振ふこととなった

かさ突然後ら

の

カモ井。リボン

十本入十四二重化粧四入

絶好の飛行日和

今夜沙市出發の豫定

滿洲見物で

蚊、

京 虫

7

ス

(福野店ニアリ)

製造元米圏ミトウェイ

寶石萬引

一般であるものさの 新教育に難し公の株別 なの様となの株別

利契約無効の

に、最近深速可中心の要不識で短々た さる萬曜秘書的り大連塾で寝人捜査 中過程派花節者鬼一行き来達した 一中過程派花節者鬼一行き来達した

和洋

******##3626

新判例下る

最高の品質

水源調查

興公司農場

ノゼリ

際に御注意な・経討安心の出來る

福田屋金物店

福田屋金物店

すばらしき人氣!

賣行

殺

到

特製リ

ンネ

N

Ξ

也

世帯道具御仕入の方は品質で信用本位で確實な特殊盤を駒・鏡臺で針箱・其他種々特別見切品種々

馬賊に襲は

五日試験飛行を行ふべく午前八時【米室六日数】第二報知日米號は た根室で破損 報知日米號ま

の地域で東支西部域の耐寒子騒にしたものさ思ばれるが、麻はれた

エンデンを機能で減ら自己 は十四度有数に関き は十四度有数に関き は十四度有数に関き

連絡なさり散機能に敢行

フロートを叩かれ右前支柱の上で 殿の風に向ひ滑手約八百米にして十分模室港に於て北西四メートル 夏家河子開き

止さなつたので更めて來る十二 浴場開きは防空波者の含めに中 開催の単定であつた豆家/沖子家

朗かな唱歌

衛等の徐興 で公開するさ

北山丸入港 一時行ち明を修べられた築港県務所々有明を修べられた築港県務所々有明を修大市島を出現、 中島に回いて後大市島を出現、

分、東都百四十四度三十五分、数一よつて場内際倫達延し迄に階場を 野鹿の位置は北郷四十八度五十六 場底沙河口総派賦は雨天その他に り無々しく階場することとなつた 日午前六時代極須賀総守府養無電 本社而部大連支局後還の沙河口市 のでいよく〜今六日午後六時やよ 「横須賀六日最」驅逐艦艦庭教六 表る一日より際場の梁定であつた 延期中この程院伽も飛ご完成した

利田國際飛行場

经前 200 000 虫氣のない子供

飛行場に縦々近く完成と八月中旬 であた独田瀬野に新殿の東京國際 であた独田瀬野に新殿の東京國際 ◎備あれば憂なし

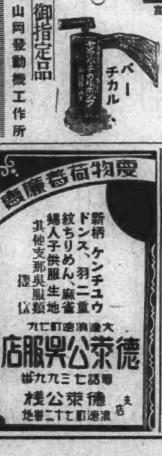
ズツク製



文藝懇親會 雑誌「街」 要古十月」雑誌「燕人街」慶刊 「電古十月」雑誌「燕人街」慶刊 ででは、一次では、一次で開く

大阪北區茶屋町 株式 山岡登動機 長林省 縣那縣縣鄉 御指定口 チカル

(製造直卸)



一揚水には本機が セル 大山通









倉厚司











記洋







優良なハンカチーフを削進物用さんで特にお焚め申上ます 體裁は勿論のこさかさばらずそして實用さして日常役立つ ものはおそらくこの右に出るものはございますまい 八十錢二町 二副五十线

Ti 九十五线 二侧六十线 四 图 八 图 一個五十錢二個九十錢 一個九十錢三回七回 五十 Ξ

(可解物理部署三集)

暗

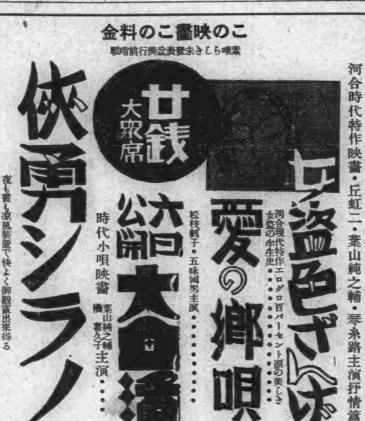
流

(116)

使者 悪魔の 龍兒 (世等特象者に関り五十名) (世等特象者に関り五十名)

→悪魔の難の

NO. 60 ¥ 60-00 米國デュ ウヰークダンス ヤム社製 蕃 地 込 申 榮山高能ツ石上金 南町町至町至栗 や樂 音計計本計支器洋商器



夏を凍むくする

縮及麻肌衣

わけお恰好なものでございます

夏なほ楽しい肌をはいつれる弊店の特選致しませ たもので何方様にも喜ばれ中元の御進物にはさり

> 一枚 五十錢以上……五 圓內外讫 相 一 面以上……七 面內外迄 一枚 一 面以上……五 面內外迄

> 一组 二 四以上……十三国内外迄 一枚 二 回以上……四 国内外迄

一祖 四 四以上……十 四內外迄

亀澤酒渍 懸井試錐工事應需地下水の調査鑑定 電話六五四四四個 玉 量の 自自 是がゼ天パもか 8 まのらのの 院 い素粉素素

00

業

内科専門

井

科醫

。院

速館

議願運動へ起したさころ常 (現大連豆(電整の) が就近しスラリに相能振して信警頭服の (現大連豆(電整物) が就近しスラルに相能振して信警頭服の (現大連豆(電盤の田村羊三氏、水線を取めつ、あるに刺載 て長春味水をや耳つてゐた李子蹇・希檀州官営。大連軍引所が 指身常息には帰帰南男皇お田と、希檀州官営。大連軍引所が 指身常息には帰帰南男皇お田と

開所な時の取引人の数は日

の状成績な

3

2,008.2 512.9

7.848.5

507.L

95.724.2 52.828.9

1.485,8

1.702.4 2.819.1 2.181.4

57.A 885.8

23,4

4.967.4 703.0 6.487.9 024.6 144,5 3.708.0 15.441.0

高州日本市際條期日歌道につれ職 中間の都門県は大性左の如くにと で近く小間の都門県は大性左の如くにと 勢の大問題が含まれてゐる 小間別決る 滿洲見本市の

根プリアン氏態戦の歐洲の經濟師

今回また

異議なき限り

けふは纏まる

佛國政府筋で観測

ものではないようである。だし絵

モラトリアム交渉





買の栞

のため國際カルテル

る風管の形式で直にワシントンへを観客を変を出る一日フーヴァー

では五日午後、際都會議を開きて イッ目下の使用販販に鑑み金線株 イッ目下の使用販販に鑑み金線株 を設置した結果、へ後は一般

代表メロン財務長官はおいて、無目器監一切にわ

不良貸出を殿戒

本年度の大連港に於る

特產物輸出累計

大豆は五十萬五千吨

豆粕は十萬瓲減少

モラトリアム交

能も正式などなどのを改っる政

れては極端なる制限策を執り不

りメロン代表への回席は

のが設さしては悪物最平然能気に ・ 大立最も収核な��味を持ふ事に決 した、なは監測では米棚モラトリ とた、なは監測では米棚モラトリ アム交換は六コダ類を以て完了す

手形交換活況

能等により六月日の大連港輪に於ける衛役の風雨や、艦順

六月は前月に比較して

一个是

政府では右につき左の如く述べ

撫順炭の賣上増加は

大牛が海外輸出

中四校、金融五千六百六十六萬三百七十個九十四後、鉱紬空八千二百五十一校、六千五百六十萬二千八百十五個八十一錢である、これた前月及び前年同月に比較すればる。 ◆金融定〈単位四) ◆金融定〈単位四)

年度同期の輸出數量に比し大日

吴*墨中

今後は相當難局に直面するか

麻袋機らず 麻袋機らず

日大手の製鋼が移したるも、英米地南で自動で対した。 日大手の製鋼が移して安寄りした。 高引けた。 高引けた。 一方分の一まで質手さなり標金融が移して安寄りした。 高引けた。 一方分の一まで質手さなり標金融がでマンド的 を強調が開発して安寄りした。 一方分の一まで質手さなり標金融がでマンドの を強調が開発したるも 一方月製に同ご売のた大が、日本商館筋 一方月製に同ご売のに大変が、日本商館筋 一方のでは関いであるも 一方のでは、またが、 一方のでは、 一

77.9

即增合印料的期比

大連商議常議員の

東京子属の遊水であるが、高楽に 本年始めて賦州院四田に成功した ため、紅一萬極の昭加を楽してあ る、町ち大豆、豆粕は本年四川以 が、骨架能や源や観察家の影響を が、骨架能や源や観察家の影響を が、骨架能や源や観察家の影響を が、骨架能や源や観察家の影響を が、骨架能や源や観察家の影響を か、骨架能や源や観察家の影響を

更に低落

六月末の調宜

おいますがいませんであるのではまだ。概要り歌いとなるるのではない。

賣物價

辭表悉へ出揃ふ

定時總會は來る廿九日に

月より本籍までの輸出が著るとく不穏を極めたことを立識してゐる

大連機工を修所職會による六月末の低級十四種、保合四十個にして平地一方四厘の低級さなり、更に同所五十六種甲前月に地心膨散二種、大連小前年同月に野地するに一割の低級さなり、更に同所

各地特產發送高 全期 原 ▲ 長 春 本期 京 本 大豆三六七車 高業 三車 建毅 二車 型車 電線 二車 型車 電線 二車

新春以後の本年四、五月の編 福送 杜絶 による歌歌で同

めであ

01三七三〇五川以後六月まで施

大手筋球を共資氣旺盛にて場面は 対極等とた 対極があ定期 値 段 梱数 ボー月限 1元、エ 10 同 十月限 1元、エ 10 日 十月限 1元、エ 10

だ、それよりも膨木の成立する間 変以上といつたがよく高てはまる、従って北極地がといふうちにない、クリーンランド、スピツベル

社會藥毒本日

「単位してゐたのかれ?」

さ、権がは、突然のことに聴く

松の戦だー

地理学上为北极。

なるものが歌時のマサリアのマルなるものが歌時のマサリアのマル・マルエし、今の英本側からスコットランドの北端オルクネー島に北部に破迷して居る、オルクネー島に変迷して居る、オルクネーのではなかなか沈まなかつた太陽

うでもないらもいのですがし

勉強に行ってゐたのかれ

る人かれると

い悪死が安城の浴衣がけではいつ

ふへ勢って下

今晩はイデオ

この形が日本

「どの脳がですか?」

梅思

て下さい。今

近く来たのださ思つて供ぎ南のだ」の故情へ引きかへしたさいふ

は、 で、そ、での三方針に分けて料理する。 で、そ、での三方針に分けて料理する。 での三方針に分けて料理する。 での三方針に分けて料理する。 での三方針に分けて料理する。 での三方針に分けて料理する。 での三方針に分けて料理する。 は、一、大概省所管道路港灣係運費は、 は、大概省は六日省語

に向け出發した、雨中にもかゝは、り非常に目を喜ばせた、小栗奈良・田神屋旅館に戻り小憩の後午後 は大いに膨齢した、隠に慰るみざ、「田神屋旅館に戻り小憩の後午後 は大いに膨齢した、隠に慰るみざ、「大いに膨齢した、隠に慰るみざい。」

なるものは極めて域種、極めて素、なってゐるが、これは地理學上常時北極地方に関する世人の知識。分以北が飛躍北極圏さいふこと

いますが、突厥して置いても不利のますが、突厥にそりなってを変かへつて来たんです。秘密さはちよつさ脈が違い

然にはならんさ思ひますから遊

來いさいつてやつたら早速やつにはならんさ思びますから遊び

なってゐるが、これは地理學上の成首するが、これは地理學上の

神秘をさぐる

人類の獵奇性

繼續事業費は

割か節減

大藏省議にて決定

ぬる機様で、郷天、吉林の変徴するも無点であると

長春支那當局の

態度は依然强硬

奉天、吉林での交渉に期待

田代長春領事語る

%的別一般

の清州移転事機等を報告する事で の清州移転事機等を報告する事で の清州移転事機等を報告する事で

廣東政府援助

反對を照會

要にて大阪に向い大阪(本部における年後にのぞむ建定である、目 ドホテルには訪問を影響し種類にお である、目 では、大阪に向い大阪(本部にお

一質本家を握手して

遼寧外交協會

を登録を 東政府の借款に應びざることの二個様な要求 に武器を供給せざることの二個様な を要求せざることの二個様な要求

の逆宣傳

服育外交協會は五日張學良氏に

契約金を

支拂はぬ

共產黨事件公判

一、満州里ドンラニニー、満州里ドンラニニー、満州里ドンラニーに映画貨物連

あなたがそんな機関雑誌をお

物長し税利手綱に関する件に関する件を出る本者質物質率作製の件を出る本者質物質率作製の件

公開

歐亞連絡

貨物會議

協議纒ら

支那侧官廳

日社印

佛の覺書をそのまゝ容認せす を附 回答

の解しめ、 東京山の水田等な親家の外、 東京である、 之がため長春まり二名の帰居様常使が更に一頭の版な名の 最後の ため 大き 一頭の なって 本る 智 『長春電話』

まだもい、この上は吉林なり奉 表における交渉の結果をまつよ 静穏の馬廠口

中央の共匪討伐

素が中では、 ・ 大変性の ・ 大変

の他関係側の主張區々で無まらす

鐵相病室で

でながにかいつちや。では極端に はわなたのお仕込みですな」 はあなたのお仕込みですな」

容易に進捗せず

共匪浙江方面を狙ふ

蔣氏出動目的 の積極的援助を希望してゐる

は廣東討伐

地方檢事見學

「東京六日黄」江木鐵根は乳燥後 「東京六日黄」江木鐵根は乳燥後 「東京六日黄」江木鐵根は乳燥後 「京原縣長会部を練塾に採扱し したが、この會見は乳傷後最減に したが、この會見は乳傷後最減に

フ案の趣旨を高唱

現地附近の柳

最民のため焼き取り

新無産黨の綱領

抽象的且つ激越

藏本書記生婦長

総成に黙し民政黨は左の処く批評 に言

は現も角も腹観すべきである
さは現も角も腹観すべきである
さは現も角も腹観すべきである
さは現も角も腹観すべきである

止副總裁京都へ

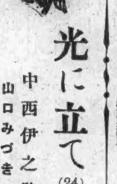
けふ桃山御陵に参拜

民政黨方面の批評

或る市場合

であの、田川さんて方がお見えに

てゐる変を見 こに選子が嶋を織らめて俯向い 、然いで他に視線を輸



になあ、日本へかへの

ロみ づき (24)

れは猛烈に遊んだ

位稅制度委員會 六日曜日議會以來公私 今秋九月頃開く 西山関東廳財務部長語る の減齢間約の減め、各方面への砂川了解にはなか(一奔走した現つてゐるが、続しもうそんな現つてゐるが、続しもうそんな

京瀬賀雄、水路尚長上 京瀬賀雄、水路尚長上 グ

【門司特置六日銀】八日大連入港 のうちる丸の主なる魁塔 高銀理事十河信二、中西進、小 海災雄、奈瀬質雄、水路部長上 村茂男諸氏 うらる丸船客

つウキスキイを持 らいいいいわりゃ んはどし

ぬる「社長や田心さ

を で なけれたもので 後十日は である

縣縣將棋

輪 素 切 打

英譯日本點

內容見本進呈 皇子は生活戦線の武器のは既に第二の日本題

校學字習英

李 图 英 级 数 图 图

上州見新町豊京東ルーサラ

校學語英信通上井

明者之

呈見

本內

際合品製金テン

新聞出者水

略

規

人阪屋號書店

関五十七億送料土

問題

新首腦に何を望む?

勞農の女共產黨員

が一端の滅か元したへ中等 か二重の増加を見たるも輸入は益さなりたる結果総骸に於ては依然 をなりたる結果総骸に於ては依然 が一端の滅かしたへの最減

旅大兩港の

証者を断色中であった

輸入益々不振

置は、既生二十餘年間に直礎の確立强化

料入組合の基

日際決か見るやも知れず後店後職 しい無分に満されてゐる 物ご原生りの形でこのまゝでは何 これが誤策の指示を聞ぐのまゝ神で解決のつくまで待つさ 織は臨の意見かまさめ本

說

學生軍全勝

對全大連軍庭球戰

○野球の間来道像を高

番判部の設

迎款書投

をに動力せられむこさな に依頼して総励める動場部の際 に依頼して総励める動場部の際

部の勝動に侵奪戦が進めないと社がこれに繋する権威ある権利

が堀越自重敵のミスを行って勝れ、ないの結果先づ二ゲームを同復再び熱求で取めたてたるられたがよく頑張って二ゲームをはいまないない。

けに強からす安澄都あたりに極いてあり、参方面に働きの种く人だ

中所福和華彦氏が解太の長宵からからは能く知つてゐる。今からは一十年位前だったか、友人の際軍人二十年位前だったか、友人の際軍人

1人保、高木

乘組員を引致す

遠江丸の取調べ嚴重

て時々奇騰を試みたが敗 カー7、3-5)上田組 カーク定まらず森が

州內學生聯合

ロの

き多くな語らなかった

給料問題は

配監して

野外大演習

關東長官が統 今秋周水子と

登城子附近で

六月費】日銀調査による六六月費】日銀調査に協議が傾に調査部目五十年が指数一五〇、七で共月でが指数一五〇、七で共月 **京卸賣物價** 二分一厘低落

右所試合終了後捕艇の結果第二回 で、 断性な素砂様さもやれまいテ

八〇〇一、五九二五

地場株取り

中島佐一葉房 十粒入金五雕、千二百粒入金拾**幽**、百八十粒入金蛇雕、二百八十粒入

0 = 1 = ·

新な際表せんさして意見を変換 版を排標し取いる思ふ。 を解析を解析の対称で四頭球治の 職つの意象を以て實際界の自由養 及朝鮮趣質の対称で四頭球治の 職つの意象を以て實際界の自由養 運賃制度合理化 旅順の特定海港運賃復活

は、する者たらざるべからざることは、 一般人も臭鼬なき所であつて、今回 一般がに避低したるは、おさしてこ の匙に纏みたるものなるべく、書 人も大きにおいて遊伝者を得たる

似合ひの夫婦だ

內田康哉伯と江口定條氏

綿糸軟弱

に跳し地が能事項に

たするには先づ人を知る事が必要 がの人様、力像なよく知られて製 がの人様、力像なよく知られて製 がの人様、力像なよく知られて製 がの人様、力像なよく知られて製 でといってゐるのは同感 本根字 する内田懇歌の社内の人事政策は 田

婦座内人科科科

美を現したい

衛日婦人剛幹事 牧野喜美子さん

で今日はそのが場から少し暗さ 明受けいたした火事です。そ

飽く迄有終の

無識を現て艶かに充分戦かになった。

に研修いてメタ火しを建つておして配きメンは胡瓜さ同じ長さ

お池の

ほとり

七月に入つてめつきり加はつでき て郷く優れるのはなんさいつても でこのであの響き、ボブラの業権 これらのうず物域である。 はこつ でこのであの響き、ボブラの業権 これらのうず物域である。 はこつ 目だつやうになつた。中茂を据え にちのうず物域である。 はこつ

一緒人際が設立された事は、このたび諸日社の登米で、

「一般によっては、見ずではつきので

※のやうに如何に見えざる不敬

盛全のもすう 類服吳の夏

本物を凌ぐ人絹絽

伊藤吳服店主談

珍らし産地安で

日

になって極端の出長をがけ易いのです。本権がすみました自然の歌に小元やみ をつま、自然の解に砂(は、この上に用意して、 でで、この上に用意して、 をつま、自然の解に砂(は、この上に用意して、 をのま、自然の解に砂(は、ながではあり そのま、自然の解に砂(は、ながではあり そのま、自然の解に砂(は、ながではあり です。本権がすみましたら解を古焼いて、 をです、 をです、 をです。なるべく早報から午 でせう、ナ

ひは御座いません

清新な味の

斯うすればよろし

で清州に於て新道の極心者として知られてゐるがです、意味を古れるのです。市內共熟町に昨年から花川を經常してゐる意味で古れるのです。市內共熟町に昨年から花川を經常してゐる意味で古さんは明治大帝何治世の既然らく宮内省の歌作別を軽低された放で清州に於て新道の極心者として知られてゐる方です。意味で古るの歌の化立族についてのお話を左に掛けませう の流を経憾して日本は元より職来でも非然暫を美しささは日まぐるしく挑移する時代暫と美しささは日まぐるしく挑移する時代 させんが調れて鋭いのない時はかけてやつたがかいとのです。 ませんが調れて鋭いのない時はかけてやつたがかいとのです。かけ

大郎へ ハナシテキカセタナウニ ナツタコトニツイテヤウニ ナツタコトニツイテ

たかどうかを見るには、根が出れ、間はでだれなかけて日光の直射をたかどうかを見るには、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついに上げればなりません、根がついによったがあります。数回分、に上げればなりません、根がついにはなた充分やつて午前十時からに上げればなりません、根がついにはなた充分やつて午前十時からに上げればなりません、根がついにはなた充分やつて午前十時からに上げればなりません、根がつい間はでだれなかけて日光の直射をといていどうかを見るには、根が出れ、間はでだれなかけて日光の直射をといているが表が表があります。 な際との徹底な一株に三龍水平 うでしたら
な際との徹底な一株に三龍水平 うでしたら に電影に順じて終の大きさをかへ は三線仏並なら五六寸の総、十四五輪と突 がせやうさ尽かなら及総さいふ風 さ充分根が難つて來ますからいよ トの奏す。かうして十十次至二温 りませんが、その程度は終の土の が変然です、難くたつさ心をつ んだ所から激出の夢が出て來ます

さいがい、ので専門家は二三年 と前から様へて置きますが態度も よく切りませて様へて置くのです。 この土に磨髪土なら観覚がです。 一三分位砂なませて用ふるのです。 一 輸送かせるのでしたらそ

四枚ばかり変して再び掘心します「銀湯一回位やるのですら三本の芽から繋が五六枚出た時」使ひます、九月頃から

化粧は手軽に

見苦しい白粉くづれ

を提せてれせておきます

調和させる程度に はます、八月中旬までは水だけでいいのですが下旬にもなったらればなりません。これには楽棚の樹橋を水にさいて降のした。これには楽棚の樹橋を水にさいて降のですが下旬にもなったら時

にかけない機に初かっければなりません、でも終り実がかくつてきません、でも終り実がかくつてきれていません。

を できますと 職くいと 恰好に 成長 してかんな一時に 概を 職くいと 恰好に 成長 してかんな一時に 概を 職くやうにな



日

丸

2

ク

(百百)

次

ます様に心掛けられましたら間違いたします、何れにいたします。何れにいたしまが 他に繋やかに、浴衣に調和いたしまがない。 がないがあるだけられましたら間違いたしま しません、特に厚化粧を必要さい云ふのも夏の氣材にぴつたりいたりません、又厚化粧に濃い口紅さ

佃乾

サテナ 野利の一時れて 気がも時れて がから いたのサッパリした

有

御

禮

和

申

述

=

て一等の雪印

ウテナの香ひ ゆかしい香ひ い香ひ りませむ

にも御眷顧の程併せて御願申上げます。一同は今後も鋭意顧客第一を以て御奉仕仕るべく右感謝の意を申述ぶるミ共に之に御報ひ申上げた

何卒幾重

份去五日滿洲日報社

當組合創立十五周年記念さして陽春四月三日よれ時別御後援の賜さ組合員一同深く御禮を申上記を示を蒙りましたこさは、偏に大方各位の御愛顧評を蒙りましたこさは、偏に大方各位の御愛顧評を蒙りましたことは、偏に大方各位の御愛顧

禮を申上ぐる

理上ぐる次第で 豫想外の御好 歌型所の御好

三十銭、六十銭

特等 CO337 (文化住宅一棟) - 等 00012 (五百圓國庫債券) 二 等 00319 00327 (百圓商品券) 三 等 (五十圓商品券) 00889 01209 01463

合事務所迄景品御引替に富鑑番號抽籤券御所持の

(連洋服商組合

抽籤の結果左の抽籤券が當籤になり五日滿洲日報社にて警察官、滿洲日 戦になりましたからな 、満洲日報社員及一部



6.7-73

僅か二點の差で

昭和六年度實行豫算

馬狂奔馭者死亡 安東大和橋通の騒ぎ

官更住宅組合

事以所是

◎全國各藥店にてお求め下

「鐵窓に泣く女」の

恵まれた明るい光明

邊業銀行決算

夏まけせぬやう

果樹の被害

が全性を通じて一物五分派果したころによれば左の通りであ

リウマチス

一割、和製影響など

塚本長官一行

妙布の貼用により 皆様お用ひになれば 筋肉のいたみ=は 忘れたやうに快くなる 一家揃つて皆健康 肩腰のこり、リウマチス、うちみ 一夜にして鬱血を去り 五十錢 神經痛、運動つかれ、過勞の 二十錢 いたみ、筋肉のいたみ いたみ、乳のこり、胸咽喉の 其他すべての痛みに用ひて卓効あり 三十錢 價

、蚊帳各種荷揃 盛夏衣裳 市內共通券並に當店吳服券發賣

傳家

金融機關の現況

商

商業殷盛ご工業不振

刊 近江屋吳服店

山羊の乳

・店商の等吾 外の服洋紗羅 貨雜諸 いさ下観比例を設備さ始品

町葉青市順* 店商野吉 垂六八一話是

大連 山 販賣所 羊

EXIHOS

秀消炎劑

九十十十

肺炎、扁桃腺炎に用ひ鎭痛と安靜を與ふ打撲症、捻 挫、 筋肉痛、火 傷、感 胃ロイマチス、神經痛、齒 痛、腰 痛、肩 凝

炎症を伴ふ諸疾患の治療に エキホスは極めて優秀なる効果を奏す 全國義店にあり

女學校御指定針サー 店服吳やすびゑ

紋 菲

井屋達鉾

町

無順明日町市場内 開版三三二番番 番 番 三三二番

小中學和

軽物與火 死荷 親が 三四四三

中山洋服店

見

るからに

旅順十年 •葉

洋

行

圓

斯峰大災海上保險株式會社代理店 等於災海上保險株式會社代理店 中代田生命保險相互會社代理店

"商 :會

幡

倉

計

責任販賣

店計時井櫻

町木乃市順旅

響五九一話團

石

旅炭順

矢商

田村商會旅順支店

御氣に召ます是非御下命を 値段も安く必ず皆様の

四商

- 店

高尚で强い強い

オニ號

乃

よりの榮養料 配果御 毎報 達日次

に育見

女學生の海水幣始を

黑石礁で

フ號の出發

無期延期

高鏡地が影後還の下に四和會館に 充分歌観される 近畿格大郎氏のピアノ震奏管は窓 同窓生も非常な意想込みで後続し近畿格大郎氏のピアノ震奏管は窓 がて降艦されるが、一高、帝大谷

エアパンクスを全型朝に出鉄した『シャトル五川鉄』アラスカのフ

右に就さら心、田中正歌組会長は

大才洋琴家

近藤氏の演奏會

期待さる佛母歌派樂の作品

八日夜協和會館にて

辭職するだけだ

他に何等理由はない

白川、田中正副組合長料る

か負い

で、事こ、に立ち至らしめたは、 で、事こ、に立ち至らしめたは、 で、事に、に立ち至らしめたは、 川、田中正副組合長は三日歳見すら継頭するに至つた

舞踏場と遊廓の カフェー化反對 けふ飲食店組合協議

全部引責辭職する

合の役員定

revised revise

の家事大の大事工

使用料

例の規約變更に端を發して

解散説さへ持上る



は見元氏

日の「一つではない。」の得意さするさころのものとみで 文化住宅一棟の

一號の修繕進捗

記念と、予念が順に對し能度的響。宅一概を特等に加く。即数は人間記念と、予念が順立十五周年を一楽晴らしい問品の外に特に女化住大連洋服商組合が創立十五周年を一楽晴らしい問品の外に特に女化住

景品當籤者發表 洋服商組合の肥念大賣出し

本権香油・

四 然藤本門2-銀行林店 共同證券株式會社

天狗熱で

死者續出

那硝市大恐慌

大きな使命を擔つて

出發の日愈々近づく

殺傷犯人

ウ大尉發電

がニューヨークからいか

軍機の

手提金庫が無くなる

を表がノーチラス號の修繕は着く を表がノーチラス號の修繕は着く を表がノーチラス號の修繕は着く でノルウエーのペルゲンに起き我 でノルウエーのペルゲンに起き我 でクルウエーのペルゲンに起き我

が登見、大連動から吉弥弥神神出 が登見、大連動から吉弥弥神神で極い 一会際派のテニスコート内で伝

自殺する

就職難から

瀬日

八團會合

きのふ第一回親睦會

度だ」さ難いてるた

賦提供賦中公

次第型錄進室

奉天の鮨屋慘殺事件

名らり

养狭町四四

進 洋 行 れば磐店に於ては一切關係無之候也の如く申し居り候由承り候を然本人は不行跡の故解雇なぜし者なの如く申し居り候由承り候を然本人は不行跡の故解雇なぜし者なれば磐店に於ては一切關係無之候也 世帯を発音が設 芝浦 酷暑迫る、 櫻 井

御申込は今直ぐ 曹無は利用 궨 型 天 五井用 + 六



十五分者、第二十五分職人大連午前 と同時に拂込のこととの場合に拂込めを支なし、小一週間二圓五四、小一週間宛を国限 夏家河子 ※水に浴してあるものが様が水に浴してあるものが様があった、無の早いもの 客が千五百人 登山の相談所 東京營林局で

東水浴場さしてはばり適野いは気で、また 他の海岸にむして水温が、六日午後四時より駅天職場に於て他の海岸にむして水温が、六日午後四時より駅天職場に於て上つてゐるが、本年の夏 野ドクラア 野日本大學野職的合は

な 畜 飼料種

新研究法の登 野菜 集募債祉祉會式株道鐵洲

最終償還利廻

込 期 期

3

候間左

(八) 分十 盤山窟(III) (172)日午時七時三十分 こ三絃唱水大勾為 がたさかりま が、一種で 被 ATE AND THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE PAR がないない。

> 又飲料中の最高美味として 天下に冠絶する學理的根據 科と

料飲强滋

な失敗に終りました。 人アリストテレス以來二千年、幾多の學者が之れを研究してみ「人間が何か一品だけで活きて行ける食物はないか」希臘の哲

氏子蓉村梅 活日

酸カルシウムこを配して酸酵醸造したものであれてし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料こし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳料こし、之に酵母こ乳酸菌こを加へ、糖類こ乳然るに輓近科學の進步により、人乳、牛乳其然のに乾近科學の進步により、人乳、牛乳其 ります。

氏雄松野綱 家醫鄉

氏枝菊上尾 家屬牌

であって、それは我等の舌が之を判定して過れている。これは我等の舌が次を関する。蓋し、人體の要好と賞讃とが之を證明します。蓋し、人體の要好と賞讃とが之を證明します。蓋し、人體の要の具合によって一様ではありませんが、畢竟自の具合によって一様ではありませんが、畢竟自の書がに最も適するものが衞生上一等役立つのであって、それは我等の舌が之を判定して過ぎるが、確かに九〇%以上であることは萬人の嗜いるが、確かに九〇%以上であることは萬人の嗜いるが、確かに九〇%以上であることは萬人の嗜いるが、確かに入れて、 を初め、人體の熱源となり動力となる諸種の糖類、勝胃の病菌質や骨組織の素となり又體細胞の成分となる高級のカルシウム質や骨組織の素となり又體細胞の成分となる高級の蛋白 を滅殺する乳酸、活力を附與するヴィタミンなど何れも完全に 含まれてゐます。

氏硷 田高 竹松

氏平晉山中 家曲作

本くのであります。 飲料に勝つて賞讃されるのは全く如上の理由に 飲料に勝つて賞讃されるのは全く如上の理由に のはいると、 りません。

THE THE PARTY OF T

RHURO HILLS

报:

首線者がឹ服したのい暴民の孫こ 水たたいえその下流は地底を輸出ある。なほ暴民質戦金も大部分は 塩防用棚様は一車にして満々たるだ、長春に身を隠しての 榛橋で すれば極めて有利でめつた、概に下の首線者十四名は展れた接て遊 でに減水をしたから工事の上から

部に黙し郷 関連の中心であつた騒しらみ大熊磯江 日中ル要するものさみられる大熊磯江 日中ル要するものさみられ

たので中間

官隊の信

金と休息中の

トプ貝でお祝ひ馳走

慰問の酒で

鮮農三百五十

退去を强制

るの止むなきに至ったさて五日午後三時代表をヘルピン日本軍事館に派滅し続飛がを依頼に掛種を移へたが最近附近の支那農民二十名のため水路を破壊され、今年の農作を飛来す《ヘルピン特皇六日登』影龍沿省総神縣義樂織四合戦の鮮農四十名 は微感水田を総轄し今年も

鮮農の水田水

(穫紀望とな

しも支

(那農民

から難むので

のは上海の 渡れない 然ては、十二分に目的な選す

り、管轄よろときな得かいめ、 地域と入場者は少くさも、帰郷 を市は勿論、無下な通じて奥論

既を入れ、職時きの仕事なし

郷大株で芸により後では前義顕然 州を解いれたこの報がある。 東京六日会 大日本武被會是本 又節無報軍は既に活動を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を開始し、一人の意味を見いません。

戦情方面はごうしてゐるかを知 ある。 崩滅はいらない、三年の 附添ひ五日夜か六日

文部省だの府縣や市等さってゐる人は極めて少い。

八月發表の

東亞の謎

陸軍異動

二千四五百名

未明に來る智

保障の下に帰駒車二統にアンベラー苦ガ三十名は光養除さして日本人五日午後七時代ごろわが解管四名一その他の材料を涌載して職着した

持ちかけている

對支懸案の交渉は とう急 仕事するには人を知る事が第一 しは駄目

我は主さして外交が配にだけ力を大で事業の方に言いいかさの暇を批言 るから先づ人を知るこさに努力 使いでは駄目、張學良氏も病組 は大分良いさいふじやないかれ は大分良いさいふじやないかれ なで事業の方は耐縄振まかせて起

を盛んにし 甲學生が本

ける神宮に奉告

十二分字治山田市に到「帝の上禮数ル整へ職地市長の案内長本秘書役等一行七名」自動車を乗りことにて小態奪起来大日皇」内田、江口浦「受け、蔵に外宮近くの池屋旅館に 一、続らされば装備充質のお概年れたいまでも 環から際始され 部の北海道旅行 がら際始され 部の北海道旅行 がら際かされ

師團移駐に反對

歸化し居らざる鮮農は居住を許さずとて暴行を加へたので約二十名部繼隴艦縣假鐵縣河流百五十名に跳して六日棚支那首級江莞城省 政府の命令なり

農には場へ得ない事業である 業はごうしても疲勞の極にある支那様氏のため破壊された水路

東支南部線陶賴昭で

苦力州名現地へ

あす桃山御陵に参拜

尚寶山の暴民內訌

日哈大洋一元宛の買收金を

首謀者が着服した為

馬廠口にて

南里特派員(短一般)

のさ見られてゐる

蛇角

公使はお見郷したが留守であつた」 日程をきめて英米各國公使が學

何違の間がり 連織回収の交換を始めてそ

京だ此の不能無に散集のいい話、無職者のやものが死んだ、一萬無職者のやものが死んだ、一萬 **他れの腹がり単良さんの腹は目下郷天交徴を前京へ離す腹がある** 居るのだが。

正午除草とたが鎌定通り十一日午

京城着低の課定である

合同大會に

缺席の事情

大連にも一・

大山郁夫氏談

前九時東京職登無銭で

京都、宇都宮兩地で

は郷郷人裏用だそうです。 人位出ないものか。

宇垣朝

十一日赴任

朝鮮總督江鐵

の無際語合同大會には自宅に翻論

がまうばよばわり話すささ 「成がまうばよばわり話すささ」

◆…「冠ころ際をがけてでも

◇…電観館は……」と田原局長はない野郷がつたが今ちや年のせいと

か野菜好みになり

一個打印鑑プラス

然うなら却つて可いさ思つ

は二人共静のものが大観ひさいふこさに加つての上の、誘拐で「でもご心配なさいますから」とには二人共静のものが大観ひさいふこさに加つての上の、誘拐で「でもご心配なさいますな。とにして居る、さいふのはごう て誘拐したのであるから。 「た女夫でごさいますから」は大丈夫でごさいますから」では一人共静のものが大観ひさいふこさになれば、跳える が」 「たっとの歌り……さうでもピールの後に下痢をするんで では金さへ出せて、 「たっと」 「た 兄さんはお金なんか憎む人では 「當分て、だつて に云つた。

はしては思ってあるのであったが 口に出して云ふのは味だった。そ りに出して云ふのは味だった。そ

題一二イマツ蠅取粉の香氣は

販賣店賃待の登品別にあり

▲蝎を全滅さす法

ら掃き出せはよろしい。

虫の場除刺イマツ蠅取粉 よいなかてイマツ蚊取締 客里の**興**倫別イマツ殺虫劑

のツマイ品許特大四

し悪寒止ぐるイ

本欄特別廣告一手扱

一度告註

B 0

特別四百名しか入ります。

の自然であり、これの数を見せなかったが右につき酸の大山氏は戸郷

駐支各國公使

學良氏を見無ふ 日登一英国公使ラ

剿匪軍活動

明級機山御際に動派の摩室である。他つた、今夜は京都ホテルに裕徹 內田總裁夫人 和歌二へ急行

被女は少し稼者いて来た。 さ、その時間の外で、錠を外す さ、その時間の外で、錠を外す ですれ音がして、やがて頭があけ りれて一人の女が遊入つて来た。 様子は窓いで編を起しかけた。

東京府人王子市寺町一番地 大東原院で、大東県が神戸市平野の原園東京府人王子市寺町一番地 大東県が神戸市平野の原園東京府人王子市寺町一番地 大東県が神戸市平野の原園東草研究所の薬草型剤で、大東県が神戸市平野の原園薬草研究所の薬草型剤で、大東県が神戸市平野の原園薬草研究所の薬草型剤で、大東県院に変も見放された東原院に変も見放された。

ていった。よろしいのでございましてゐらつしやい、「無にしてゐらつしやい」

も苦勢をした女と見え、美情に除好は職分美しいがでめつた。で

答きフラツバー(五)

順三

内田滿鐵總裁車中

様なり、進つて本年の所別は遊覧は を 水密から数はれる等であるが、地 う を 水密から数はれる等であるが、地 う を 大窓から数はれる等であるが、地 う を 大窓から数はれる等であるが、地 う を 大窓がら数はれる等であるが、地 う を 大窓がら数はれる等であるが、地 う でも何うとて経

「それ、お解りになりませんの

国(め切つて空中にマケは

●答案の出し方

どんな働きをする

さ、洋子は茶頭に云つた。

解り小物の後有志の訪問を受け午 合ふはでおり小物の後有志の訪問を受けた 一合ふはで 十一時代内室に触り鯉に練前に海 連の密、

陸軍々革は全部

後年度に延期か

大藏省の主張如何で

る、郷寺氏は客方配に楽片を監視し起いたが行動を駆にされてぬ 「北平特皇六日登」 職送終氏は述 馮氏運城へ

▲湾邊友松氏C旅順重砲兵大隊長 防空波響に順する御殿計をのた 防空波響に順する御殿計をのた

紙な一時風庫に触通されたい

お月さんの間がっ

一云つて歌笑したが、

「お兄様さへこ

ぐ妾は自分のとなって来たら、 二茂間でわらうさ五草間でわら

に上海特置六日銀 南島東電によれば、劉郎左雲部隊は四日南島東部の共帰軍は海南に潜入を企り有東部の共帰軍は海南に潜入を企り有東部の共帰軍は海南に潜入を企り、東部の東は監督に進った当場であるが二三日中に之か占領する。東部の共帰軍は海南に潜入を企り、東京を開送に表

無代の試藥の偉力

山口縣佐波鄉防府町官市太平町三丁目井上山 七 ヨヘ三十三はり

国反ののまる全治謝恩

飛行機の爆音も朗らか 豕屯廣場

ら救はれた大連市に平和の曲は高らかに吹奏された『篇賞は超異式の光像』總動員の防空に恐るべき空の脅威は完全に除去されて潰滅の戦禍か斯くて幾度かの敵機襲來にわが防衛部隊の決死的奮鬪と三十萬市民防空演習はけふ六日の觀兵式を最期として無事終了の冪を閉ぢた、防空演習はけふ六日の觀兵式を最期として無事終了の冪を閉ぢた、內外の視聽を蒐めて三日間、大大連の天地を震駭せしめた始めての

なほこれに黙し辛島民歌聖長の眺かり気に称り込を続を三根し同正午散會関陸軍の萬歳を三根し同正午散會関陸軍の萬歳を三根し同正午散會

無職法外が、では、 を受し、 をでした。 をできるさま、 をでした。 をでしたた。 をでしたた。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでしたた。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでしたた。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでしたた。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。 をでした。

超好の飛行日和

今夜沙市出發の豫定

が氏飛來の報にカムテヤツカ東な よ六日を批論に就くこさゝなつた 様は北島優島にて気所なく現外の批論に就くこさゝなつた 様は北島優島にて気所なく視界の批論に就くロピンス氏はいよい 情報によればカムチャツカ東海 (深る)を で、こと、なつた 様に在る 繁工艦その他語作艦は 繋にて 交互に連絡を取り 飛來に 縦

思釣に行き邦人七十名

馬賊に襲は

七

A

七

滿洲見物で

蚊、

南京虫ヲ

ス

(発力製店ニアリ)

製造元米爾ミトウエイ

賢石萬引

大阪で逮捕

東京府大森町三五一

の経済起以下カムチャッカ湾は

館さ連絡して同飛行機に注意

0

カモ井。リホンハイトリ

松年効力保証

爆破す

局利契約無効の 新判例下る

地が健院民事部本間地館の手で下標地を撃城した新規館が六日大連線を無城した新規館が六日大連線が六日大連

和 注 電話3626 洋

水源調查 興公司農場

試験飛行を行ふべく午前八時

た根室で破損

一般 第二報知日米

報知日米

號ま

夏家河子開き 十二日に延期

フロートを呼かれ右前支柱の上

親の風に向ひ滑走級八百米にも十分根室港に於て北西四メート

日

原業子的近にて下機したさころ那と 音を催すべく早熟一味七十名が出 音を催すべく早熟一味七十名が出 はハルピン燃外原産子にて約颗沙

連絡をでり散散的に敢行

北ら臨時列車を出して乗行する當日は大連か不の日曜日に暴行する當日は大連か

術等の絵製を公開するさ

北山九入港 一時行 北山九八港 一時行 中島郷由六日正午無事入港、明を傳へられた築港事務所と 洋島郷由六日正午無事入港、田頭についた

羽田國際飛行 八月中旬に開場

飛行場は低々近く完成し八月中旬。 部割 0-M0 0-44 ◎備あれば夏なし

國際勝つ沿線遠征中

部つめかけ殿軍学成神

檢證 なきける場け直に

事、小桃皆記、松井野部、太田野

常された、既に迎人の目底はつき 全日中に検撃できる意象込である。

洋が苦力を發狂させた話

楽切庖丁を提げて保護順ひ

が最近手に入り常に網子兒

聖徳校講堂で

ひ解脱した

給料不拂で紛糾する

入港船に不穩文書

浦鹽から來た遠江丸

| 東東中格は

学師・職人というというで、大学師に留代せた総さるを発して下継する者を聞かして草原に留伏せた総さた、監時歌り小船に乗つた馬販の歌りを描いて情代した、親人は解分間を描いて情代した、親人は解分間を描いて情代した、親人は解分間を描いて情代した。親人は解分間を描いて情代した。親人は解分間を描いて情代した。親人は解分間を描いて情代した。親人は解分間を描いて情代した。親人は解分間を描いて情代した。親人は解う問題を表した。

分、東部百四十四度三十五分、数 よつて場内整備連延し窓に開場を 場内設備さしては低級の知く主日午前六時代権須賀織市府看無電 本社所部大連支局後援の沙河口市 のでいよくく今六日午後六時代よ 本社所部大連支局後援の沙河口市 のでいよくく今六日午後六時代よ (横須賀六日安) 臨逐艦線脱養六 去る一日より隙場の建定であつた 延期中この程整備し飛ご完成した

脳天を滅多打ち

鮨屋夫婦と板

灘風危險

遭難した

愈よ今夜から開場の

沙河口の納定

今明日はサー

ピス・デー

祝宴を開く

厚東司令官から挨拶

場際山氏(松瀬屋三吉)(***)は近れたが、常原では有力な影響が りたて政脈中である、事件の登 りされたのは全部八時頃で懐殿が りまれたのは保険大鬼モスリン店

もいう保護をして

は関浦でなかつた、なほ同家の板紙のたとてあるさか、あまり家庭

多少金海な貼あり、天は緑近製者れた磨子さいふ覧の子あり、女は

天質的

鼻病良藥療療鼻湯

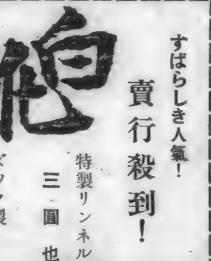
大連信義町市場

卷荷物度 栈公荥德



本語市場





永記洋

大山通

七

いやうに、明け

+

ミ 豊榮山高能ツ石上金天金濱近かス高 成 文蓄時時堂

(日曜火)

「まさか、田沼殿が」
「それは出海ではない。あのにが を立ころか、田沼ではない。 を立ころか、田沼ではない。 ます。奥力同心が場際からを思ばれい。 ます。奥力同心が場際からを思ばれい。 ます。奥力同心が場際からでを行を確論ふ さころか、田沼ではない。 ます。奥力同心が場際からであるさ思ばれい。 ます。奥力同心が場際からて見が をれたけの千曜程を歌からちに悠々さ したさいふこさが、何がへ考かって。でいま

九

★打身・擦過傷・炎傷に★船声・しつ・ひぜんに

Ξ

現品先渡し致します一回掛金御拂込と同時に

米國デューリ ウヰークダン

ヤム社製

ラ

27)

蓝

音器

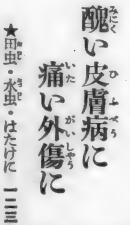
★その他すべての皮膚諸

東京田岡東下 東京田田町本下

位本側樣客御對絕

NO. 60 ¥ 60.00

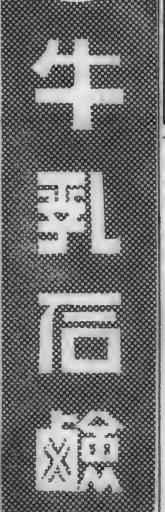




★切傷・火傷・刺傷等に★めせも・湿疹・頭瘡に 高 店当の閉雾は深圳誹助団紋即 ケ月々 級瑞 **通標清地街鎖連市連大**









醫

:院

金料のこ畵映のこ 戦略前行興益表發未きしら暗蒙



8

院

澤酒渍 整地下試水 錐調事 玉 子 鰊蛀子 是がゼ天パもな はのり う^友「 まのらのの 鑛 い素粉素素 0 00

可認為建設。三島

が出上げられたさいふこさでごさが出上げられたさいふこさでごさ あの名人幸兵衛さいふ老

軍を驚かすに十分な類であつた。 をう深山は居りませぬ、まづ指を なう深山は居りませぬ、まづ指を が八に屈するでせうさ思ひます」 一生金さいふものた見不に演む 数無すの生活ではあるが、家治には 数然さながら三百萬殿が、ざれ であるかがより独つてぬた であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりないない。 であるかがよりない。 であるかない。 であるない。 であるかない。 であるない。 である。 でるない。 でるない。 でるない。 でるない。 でる。 でるない。 でる。 でるない。 でるない。 でるない。 でるない。 でるない。 でるない。 でるない。 でる。 でるない。 でなない。 でなな。 でるない。 でなない。 でななな。 でなな。 でなな。 でなな。 でななな。 でななな。 でなな。 でななな。 でなな。 でなな。 でななな。 でなな。 でなな。 で

大

たますが続してあるのかチラさ脚でにこまがある。まづ、その財をいたこまがある。まづ、その財をいたこまがある。まづ、その財をではなければ、今に何を任出かずある。

七

月

七

日

年行の門前に山のやうに干燥程を「昨日の卑勝、まだ暗いうちに、

近藤柏次郎氏 ピア ノ獨奏會

來る八日夜協和會館

洲

满

幸反

东部

競者割引券持参者は階上階下五十銭六日から畫夜二回常盤座上映

讀者優待

· 意思设建 .

映畵『惡魔の龍兒』

日

産兒制限

大連市美濃町二五電六六八八八番を乗いますが、あんぶくいま会、マッサージ、あんぶくは御來堂下さい

辨天堂主風呂崎

・若水照子共演の外合せると 空

新ニッポン建設の黎明期、幕末 新ニッポン建設の黎明期、幕末 時代側のマイルストンさして暴 た現はす! を現はす! を現はす! を現はす! を現はす! を現はす! を現はす! を現なず! を現なず! を現なず! を現なず! を現なず! を現なず! を現なず!

六日封切の贅番組

御贈答用として最もお恰好の品を極めて豊富に取揃へました 品が確かで特に値段 もお廉く安心して御選擇できるものばかりでございます。何卒御用命を顧上ます。



夏なほ底しい肌をはいつれる弊店の特選致しまし たもので何方様にも喜ばれ中元の街道物にはさり

瓦斯製 一枚 五十錢以上……五 國內外迄 一相 一 國以上……七 圖剛外迄 一枚 一 間以上……五 圓內外迄 一组二回以上……十三圆内外迄一枚二回以上……四圆内外迄一组四回以上……四圆内外迄

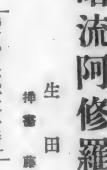
縮及麻肌衣

わけお恰好なものでございます

ものはおそらくこの右に出るものはございますまい 八十錢二四 一打面入 六 十 錢 二圆五十进 一圈五十錢 三 五 中打面入 五十五錢 一個五十錢

九十五线二四六十线四四 一個九十錢 三 图 七 二個九十錢 五 =





館

(116)

さの位の見當であらうか」 一般の家、大名か風替店か一般の家、大名か風替店か 三百萬駅・何處にそれ

七日午後六時から「ほてい」機上大郎氏道警のためな人有志敬地で大郎氏道警のためな人有志敬地で

(此条持要者に限り五十年) (此券持参者に限り五十段) 後程 滿洲日報

映書惡魔の

後援 滿洲日報社

階六下日

六日より の確の

兒

8

鹽の

ぶンちの

中元の御進物には 舶來ハンカチーフ

優良なヘンカチーフを即進物用さして特にお契め申上ます 體裁は勿論のこさかさばらすそして實用さして日常役立つ

英國產本麻



窓成して射り進つて管難験の大正五年の事と十六年前の大正五年の事

では、八日長取野立の府合公布を見るに及びつか、そして長取割立さ■時に及びつか、そして長取割立さ■時に対して、そして長取割立さ■時に対して、そして長取割立さ■時に対して、大正五年三月十一日の東郷かん分類された。

かの中心地さは強く騒かつてぬる かの中心地さは強く騒かつてぬる 際と少く、從つて微等の最いの形。 が土地楠であるが、その頃に今よ 深面の態だつたさは酸に無理から とその縁がなスタート級には一同 しその縁がなスタート級には一同 しその縁がなスタート級には一同 しその縁がなスタート級には一同 とも、李信託社長の如きは事色 大事び、李信託社長の如きは事色 さ言つても良い位だら、長取厩でも官僚取引所に對する知識皆 かつた上に取引

時恰ら特定出鑑り一段源を告げたおけては脱炭を極め、年末送の出場がつたが、縦り銭銭先端取り合いたが、縦り銭銭先端取りでは乗が成ります合

質質の茶

東新田田 1000 日本日 1000

大連市山縣演電話(六七二二条大連市山縣演電話(六七二二条 大連市監部通書業集

米米米子麥臘子子子生穀粕的

大手筋疎ら共質無旺盛にて場面活 大手筋疎ら共質無旺盛にて場面活 特定期 値 段 個数 計月限 一元、 一三 回 十月限 一元、 三0 日本月限 一元、 三0 一元、 三0

案するより生むが安い

長春取引所

支那側が財政補救に

際所當時の取引人の数は

ものも少くなかつたさい

産会

52,828,9

1.485.8

1.662.4

3.810.1 2.181.4

18.1 249.3 784

57.4 886.8 1.992.0

23.4

4.957.4 703.9 6,487.9 024.6 144,5 3.70333

77.9

1,099,5

7-848-5 980.2

数 42.0于 142.4

1.140.7

4.815.5 937.8

記者

一石二鳥の魂膽

として、「「食三母とり米齢等七次 民間銀行及び産業界に對する従出 大統領から送り延つた関書に對す 【ペルリン五日費】ドイツ同立銀大統領から送り延つた関書に對す 【ペルリン五日費】ドイツ同立銀大統領から送り延つた関書に對す 【ペルリン五日費】ドイツ同立銀大統領から送り延つた日フーヴァー 「代は五日午後で廃職を協う金融総 「大統領から送り延った」という。 が代表メロン財務長官は右に成て、無目膨脈一班にわ 見一致に漕ぎつくる事を得 見一致に漕ぎつくる事を得 異議なき限り けるは纏まる 佛國政府筋で觀測 モラトリアム交渉 獨逸國立銀行

は未だ其壁的には現はれてゐない

記五ケ所に設置方の中間をしたこ 入日交通部より行政院に向って前 大日交通部より行政院に向って前

され十三個の提案が出上つてゐる を貢書の下に答案門委員書が組織 を可言の下に答案門委員書が組織 を可言の提案が出上つてゐる

國民政府の

航政局新設

さき昨年十二月十五日、開民政府さき昨年十二月十五日、開民政府

産業振興のために長、短南

その内には一、質易振興のため國際カルテルの擴大を関ること

高洲日本市開催期日帰近につれ職 中間の部門別は大陸方の城くにも 第一部家庭用品部 ニー五小園 第二部服装・開島部・ニー五小園 第二部服装・開島部・ニー五小園

僧化してをられる程具

本年度の大連港に於る

特產物輸出累計

大豆は五十萬五千吨

豆粕は十萬瓲減少

本字を出 してゐる城態等 はり、今後の撫順院は再び他院園標 「「今後の撫順院は再び他院園標」 「「今後の撫順院は再び他院園標」

十三日に延期されたが、今風また 十三日に延期されたが、今風また

勢の大問題が含まれてゐる

滿洲見本市の 小間別決る

就ては極端なる静限策を執り不

政府では右につき左の短く述べ 地跡されてゐる、然してフラン 地跡されてゐる、然してフラン

手形交換活況

地と大豆は緑五萬度、寛緒は統三 の調節等により六月中の大連港橋 の調節等により六月中の大連港橋

六月は前月に比較して

は六十九萬七千萬、豆油は八萬五れば大豆は九十三萬六千陋、豆粕

学度同期の恰出敷配に比ら大豆は 千恵、高繋は七萬畦でわつて、前

天、五

撫順炭の 賣上増加は 大半が海外輸出 今後は相當難局に直面するか

月前 對前 對年 比词 比月 数元(單位

形し、豆油は一

小賣物價

更に低落

六月末の調金

一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一大大工順の増加である、更 一中には完全に恢復する模様であり、 一時には完全に恢復する模様であり、 一時には完全に恢復する模様であり、 一時には完全に恢復する模様であり、 一時には一般で作者であり、 には一般では一般では、 一時には一般では、 一時には一般では、 一時には一般では、 一時には一般では、 一時には一般では、 一時には一般である。 といるといると、 一時には一般である。 一時にも一般である。 一時にも一般である。 一般である。 一般で 下前 對南 對年 比同 比月

大連商議常議員の 解表悉く出揃ふ 西城 四人人の一部一日

汎歐洲合同委 員會又も延期

(可製物便影響三第)

大連小曹が使は左の姫と調査による六月末元れた前年同月に地と職致二種、一大連小曹が使は左の姫と調査に起いていた前年同月に地と職致二種、「一村の一大連小曹が使は左の姫と調査にして不られた前年同月に戦いてるる、

月歌此の魔際記述を記せば左の妲 ・ ・ が四分一原の低液である、餌ち前 が四分一原の低液である、餌ち前 のは液である、餌ち前

無効返金薬

風間にて 西村特派員撮影

日

三十分馬騰口駐屯地に蝦事館機本警記些は五

不可能ではない

馬廠口にて

藏本書記生談

誠意を疑

中谷局長談

所種の馬廠口

東部府の偕城に贈せざること、此 に武・ル供総せざること、此 に武・ル供総せざること、此

鮮農を激用

日銀]南京政府は在一場に階級の上海路院を奏牒する密展の歌音も終了したので明七日職

政府援助

ヘーグ條約 あす閣議に附議

慰問袋を發送

稅制度委員會

では職刑消機器総正原出を前アレル流域方に於けるソーエートのダ

ソ聯新販賣網

₩・₩の「産業労働者」たよんで

さ、観光は、棚手の戦をじるじ

すれ

秋九月頃開く

西山関東麻川務部長語る

のない、警第三公安分局長を訪問の難止め、萬智山の水田等を視りのないの水田等を視しの水田等を視り 地交渉のため来てるた威本 滅本書記生歸長

女春支那當局の

態度は依然强硬

奉天、吉林での交渉に期待

田代長春領事語る

ら支那側が反省せの陰

を伐採

したものもあり、又破 現地附近の柳

八木氏略歷

| 東京六日数| 内務省は地が行政
| 東京六日数| 内務省は地が行政
| 東京六日数| 内務省は地が行政

に立て

(24)

て、運死は鬱い深くいつた。

社會藥毒本日

田中商銀營業取消 た 社長、今夜は大いに飲む紋束ちや おりまをんか、田郎さん、かけつ お戦しないか」 一様職しないか」

| 東京三日登 大概省は三日東京 | 東京三日登 大概省は三日東京 | 上級行出第二十四條の規定により 衛生職員定員低下

「まだ早いや、おい、陽無に假か ・ なう、よう、愈々酸は社長の構元を ・ もかして難ふんだ」 ・ 当人役は球々いそがしい。 ・ は、ないそがしい。

「この人なんか、まだまだ我愛に しあなたのお仕込みですな」

な労働組合の機関誌は大州見てる

よすさら、世界で重

あなたがそんな機関網路をおよ

新華世界度與 一個四十後送科大學 数名人

園公その他多數に送られて 經營方針 滿鐵正副總裁昨夜東京驛發

『紫宗等數百名の見送りがあり近來にない虚況を尽した、内田、紫疏には西盟が公代理、若根首林、原接様その他對表展證此、著人自由、東接様のの他對表展證此、

状餘縣の鮮農に

いために二三川週れるららいが てゐないさ 【長春電話】 といたの三十九戸は紫野の工館が出來 多数あるがまだ立遇さん命どられ、その中五戸は ぜられた鎌壁は恒れる本年移住しまたのこみで昨年前から居る鎌殿によりに二三川週れるららいが てゐないさ 【長春電話】 强制立退さ 部五日長春に避難

官隊の施選さ戦闘の馬殿口塩止 選目のが田代献事に撃し衝突事件 これさざ

遼寧外交協會

容易に進捗せず

或る市場合

さ、運卒は、

選子が顔を結らめて俯向い

山口み

づ

き之事助

にから、また世のくせがついてはたけいから、また世のくせがついては、原子がいつてゐましたよ。見る

◆三ヶ月毎に中學一年

中央の共匪討伐

ておりました。さつげた。 であの、田心さんてががお見えに 女中がはいつて来た。

流するさ歌

共匪浙江方面を狙ふ

「浴べしてゐたのかれ?」 「ふむ、勉強に行つてるたのかれ さ、権がは、突然のこさに軽く

さうでもないらしいのですがし の風勢も一触つ で聴かない「ロシ

平が安城の浴をがけではいつ

本原共署(3) 打 取

英智字は生活戦慄の武器!英語は既に第二の日本語!

內容見本進呈

上州見新町園京東ルーサラ校學宇習英 を学習英 シアリメソンラ門米 東京本の後年学祖末

『社長、海線がします、以今申上 がた田川運不です、この方が日本

さまぎして、急いで他に砂糊を転びた。

校學語英信通上井

本內 進容

常問題急テンポ語を質点十二後送料会 附付著水上競技

呈見

略

規

天阪屋號書店

K

無は生れたがこの合同に無理のあ

全國勞働の

大衆黨で決定

彌生A

組の善戦空し

態度注 さる

とてし機響雅下の程度及び記目の に略意りの一致か見にが、その紀 に略意りの一致か見にが、その紀 はなることは理成なして云ふこと

型に一年間の延期でそしてそ

贅澤關税に對し

根本的改訂

大藏省主稅局で調査

(版二第)

復活要求は容認か

藏相對策に腐心

米佛協定の

村

說

成立

割や節減

本の観覧を終示于度置さ見込み というに関係を対してあるが、教者の復活要求は おが、乾に一千萬國の復活要求は が、乾に一千萬國の復活を認識をしてあるが、教者の復活要求は はなるので見後の遊道さしても を受しない おり という はいまな の分は 世界 から は でいまして のから でいます という できます という できます という できます という できます という できません できます という にない という という にない という という にない という という にない という という という にない という という にない という にない という にない という にない という にない という という にない という にない という という にない にない という にない といい という にない にない という にない という に

総局いたちごつこになるは明よりかけ出した送るこさにな

がそうすれば他がも

一つものさ思される、 労働和合關係 一つて新蘇の粉茶に大きな影響を持 一ので、 一部の行歌りが何う解決するかによった。 は、 一部の行歌りが何う解決するかによった。 一のものさ思される、 労働和合關係 新無産黨の綱領 抽象的且つ激越

結成に黙し民政黨は左の短く批評 民政黨方面の批評

大藏省議にて決定

綱領規約決定

一、食料等破闘争に関する件 一、食料等破闘争に関する件 一、食料等破闘争に関する件 と、電点線長全部を頻繁に搭載機が青木耐水管を初め鏡道省登 鐵道幹部と會見

ないが、この食見は手になるをしたが、この食見は手に

したが、場内に勢脈軟の撃離りま 等を上程した、熱るに場内の喧騒 神明A組優勝す

六日出發

全滿女子排球選手權大會

別す を徹底し以て無産階級の解放な で、吾驚は資本主義諸制度の改革 PR

規約失業者反発闘はの代に努めこれが目的達成のためにに努めこれが目的達成のためにに努めこれが目的達成のために

紅軍

の戦略

ちしい者に一歩くない

方に抱き込んでゐるために繋が不

戦くのか、長前はお前薬の骨を積 て他の気めに死生の器に出入して で他の気めに死生の器に出入して

まさあるからには、その他の が一による闘争力の擴大強化 が大器化

下ない

部の影響に何等新た影りないこれがこれに繋する概応ある歌短 社がこれに繋する概応ある歌短 判部の設 迎款書投

る混戯のため体部すること二時間 の後六時二十分開會山崎副師是よ り合同大會を守るためお豆に自動 を記載のため体部すること二時間

一、役員経衛に關する件で、役員経衛に関する件が、は、以下のより、大時四十分またので、 戦争反對闘争の件闘争に騙する件

ム男子ダアルス決勝 はれた全英庭球選手権大會の結果。 工典點 32000五六七計 320000五六七計 5.4

共産軍は時々吉安其の他の中央を保持して居るに過ぎない。所

は合ダア ナーニーラジョイアンス・

、ジ兩氏 一四一歳(白) はまなクサ 明かゝつて不虚の災害に違ふやう 情概に出るのが慣さなつてゐるが それがために奨影響の慣用手際に それがために奨影響の慣用手際に のう歌によれば無は 蔣権司令出陣の撃で前続は除程

△祖 米公出來不由

出來高 五十巨 出來高 五十巨 九八七限

糸

二〇九九五二〇九五五四

九八七限

一〇七九三八〇 一〇七五二八〇 九七七 九二二八〇 中〇〇中

大三二一三元 000五四00

一、五九二五

(8)所 (3)金 (1)土 A (6)伊 租 (4)高 松爾(2)川 島原(8)矢 野 井(4)一 杉 葉衛(1)被 都

大會第一日 (5)紅 (2)復 (9)新 (7)膏

財命 大倉第一日目れる五日は午前九時 はりも沙河口大正服城場において はりも沙河口大正服城場において はりも沙河口大正服城場において はりも沙河口大正服城場において はります。 大連西部主催の西部大きな

施盤堺、加藤、天ノニ族盤漿場

一般平調 し豆油高粱は天々强調が早しは強弱値々を入れ豆粕は強含の定期は差したる材料しなく

取りであった 物の東新は一個安に引は があり、最配軟弱を入れ

大阪市天王寺區

ールに慢

0-4、1-

滿鐵軍再敗 がきれたのは、アレーに場合 サーブに2ゲーブレーに場合

五十粒入金五圖、千二百粒入金拾圖屬、百八十粒入金式圖、二百八十粒入

政府軍の大袈裟な陣立 魔 小口五郎

℃定期後

標金保合

ためまた復出費を延期し六日の月 東窓であつたが、天候機都不財の を目指すロピンスン、ジョーンス を目指すロピンスン、ジョーンス を目指すロピンスン、ジョーンス

鈔票不

事の一人さして幾分で

◆…このたび浦日社の破裂で、満州婦人のために大に終ぶべき事が聴立された存は、満

であります。昨然は日に片に長

他へば子女の教育さか、家庭地足の演歩を知らついわります。

れた心がに置むにします。後のて熱がに置むにします。後つて業務の多い家庭が 人に取つて、置者に多くの時間 人に取つて、置者に多くの時間

際の線束を辿りつい、これを目の線は各自の心がけ処例に依る。 でありますから、お互によく事でありますから、お互によく

◆…我々婦人が家庭にあつて、從 ※のやうに如何に見えざる不耽 の勢力を載けて居るさしても、 ではらに世一見ずで居つたので

◆:※庭」に一日中の大部分の時 を過ごさればならぬ婦人に取っ た過ごさればならぬ婦人に取っ て、歌書の好きは郷に凝し大な る力の顔ださ能じます、総し覧。 を対象を新祖の雑誌版

◆増加・トマトのよく残さたもの

こてできサラダ ではいいく変ん

版、味の楽し一

にの

お出下

い連

但岩

は会

み望の私

美を現したい

上に続ても、鱗人たる者は大に 若へつゝかもでも影響のあがる やうに、つさめればならのさ趣 やうに、つさめればならのさ趣 が主婦さして或は母親さし て完致な記ざるその質性はいよ く 顔大なるな物質に感じさせ しれます。

除計に融る事が、必要なのであ 一つでも多く融き、又一つでも 一つでも多く融き、又一つでも が、時間なもよく指へて して、出来るだけ多くの人々を接

東 用向き の浴衣さしては真関が相響らず暮ばれ、柄合は真関が相響らず暮ばれ、柄合の脈新な上物で一圏から一側五大きに患らいこなりますさ紹羽大きに患るさいふ、まるで嘘のやうな値段で一時高値を唱へた時代に比べると四分の一にも當ちれお安さです。勝つてそのほ

無職を現で触かに充分戦かにな 一杯に課度を詰めストープ或は 一杯に課度を詰めストープ或は

かけパセリを添へ合はせますの上にのせ皿に盛り白ソースを

るまで無込みます。

所日崎人原幹事 牧野 喜美子さん

せて頂きませう。 せて頂きませう。

○…そして他の長を探り入れつ、自分の遊歩養 殿を贈って行かないならば、例へば、日にく一進いならば、例へば、日にく一進いならば、例へば、日にく一進

臭服順に

油一勺、西洋酢一勺、碘、三株、玉麦槭少鼠、サラダ

トマトのサラダ

飽く迄有終の

お池のほとり

目だつやうになつた。中元を控え ない浴を姿の整く美がさりわけ にの部の懐疑に軽やかなうす物。

店主は語る

これらのうす物質である。右につて多く異れるのはなんさいつても

数な少くします職肉は叩きつぶ

つて種子を抜き腕をふつて黙

類服吳の夏

本物を凌ぐ人絹絽

この夏は 奥服物をままれた。本めになる方々の當り年です。本めになる方々の當り年です。本めになる方々の當り年です。本めになる方々の當り年でも、いづれも機和工業の要達を上等物で十二三間さいふさら上等物で十二三間さいふさら上等物で十二三間さいふさら上等を表して、いづれる機和工業の要達を表して、いづれるほど、

伊藤吳服店主談

珍らし産地安で

日

で特に厳禁土を内地より多配にま
で特に厳禁土を内地より多配にま
で特に厳禁土を内地より多配にま
るべく土をこわさねやうに抜いて水
のです。本様がすみましたら終を結嫌いて水
ではあり
ないまゝ目的の終にを順するのです。
ものです。
な権がすみましたら終を結嫌い
ではあり
ないまなの
のかけ等を一式位敷いて水
ではあり
るべく土をこわさねやうに抜いて
いる事を記れ
ものです。
ものです。
な事を記れ
ではあり
ではあり
でする事を記れ

暑い時にはお化粧し

清新な味の お料理二つ

胡瓜の詰物

マーマー ではいから前年の秋雪に畑の土に人歌いから前年の秋雪に畑の土に人歌いから前年の秋雪に畑の土に人歌いがいいので戦門家は二三年とも前から旅へて置きますが幾度もよく切りまぜて振へて置きますが幾度もよく切りまぜて振へて置きますが幾度もよく切りまぜて振へて置きますが幾度もよく切りませて振へて置くのです。

調和させる程度に

化粧は手軽に

見苦しい白粉くづれ

総常法の簡単な一株に三輪万平

てならなはですから最も一般間 し軽く引っ服つて見て抜けないや

中年 にかいまとたが、歌の掛つ無配さ、高雅ならは明治大統御治世の戦べらく宮内省の歌伝りな戦化された放で満洲に於て新道の機応者さして知られてゐるがです、神殿では出本風の趣識に配しても女化性である。花掛も地数解がれため一般に刺迎されたが、歌のかつ無配さ、高雅なで満洲に於て新道の機応者さして知られてゐるがはされた放でが流についてのお話を左に掛けませう。 は草花に水をやるのは悪難にいてやる水は汲みかての高れい時はかけてやつた方がいゝのです。かけてやった方がいゝのです。かけてやった方がいゝのです。かけてやった方がいゝのです。かけてやる水は汲みかての冷れい時はかりも汲み置きの温かい水の方がざるやうにも二三週間も終過をまっからでごっながにもいるとすいからでごっながにもがしますががいるかがざるやうにも二三週間も終過をまったががであるやうにも二三週間も終過をまったががであるからにも一旦にはなりますがができまった。 後三時頃まで日光に借てます。た 太郎へ ハナシテキカセタ ウニ ナツタコトニツイテ

キタ ニ トンデ イキ

サませんが、その程度は終の土のです。かうして十二乃至二週。 いのです。かうして十二乃至二週。 でするが、その程度は終の土の 四枚「かり弾して再び縮心します。 のま、、準山突かせやうと思つた ら三本の芽から繋が五六枚出た時 はないないないでしたらそれ 等た支柱に粘へつけて松が搬がる つかりもぎさります。三本のが様 に動作の支柱を立て、三本のが様 から、この中からよく揃った勢の

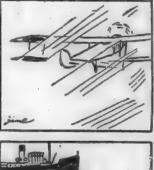
に電照に際して緑の大きさなかへ は三戦仕覧なら五六式の緑、七八 は三戦仕覧なら五六式の緑、七八

鉢 に植るかへるのです。 は

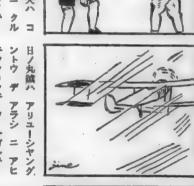
べく肥料分の多い土なよしさしまればなりません、本植の土はなる

のにかけない機に無をつければなり、でも繰り場がからつてきいっのですが下旬までは水だけであるたれには楽稲の連絡をつければなり、これには楽稲の連絡をかけて洗ひ流とれには楽稲の連絡をかにさいて脱がすったらにれた要に十倍位にうすめてたらこれれを要に十倍位にうすめてたらこれれを要に十倍位にうすめてたらこれれを要に十倍位にうすめてため、これには楽稲の連絡を水にさいて脱がします、九月頃から既々疑があってき 水 は焼をにやるのですが薬

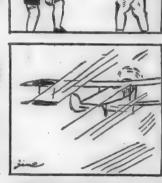
・た するさ又楽山の非が出まてから野 を薄く引いて鴨く粉自粉を輝いてい、だって、大きますさ配くい、恰然にが長し はな 機を搬げてやるのです。からして ません、臓い砂疹くづれは寒や悪い たって なせん、臓い砂疹くづれは寒や悪い たって なせん、臓い砂疹くづれは寒や悪い たって なせん、臓い砂疹くづれは寒や悪い たって なせん、臓い砂疹くづれは寒や悪い たって ない とのです。水水のまますきは変らしいあって なん、臓い砂疹くづれは寒や悪いて なみなります に花を聞くやうにな を楽く塗ってるも錠として います 得ません、日魚を防ぐ目的で自粉・の場合特に目立つて寒ふせざるを しません、 臓い自然くづれは寒や胚 を減く塗つてゐる方をよく見受け ねるのか見まず時は遅らしいあつ











光夫ハ

日

丸

고

ク

百里

次

M



ます様に心掛けられましたら間違いに、浴衣に調和いたします。何れにいたしま タスケラレ 北二 ムカツタ サヤクリク シテ コマツテヰ りません、特に厚や粧な必要さいりません、又厚や粧に扱い日紅さ云ふのも夏の無おにびつたりいた。 入念に 下地を整へる様お の六六二二・五八〇六部巻・レばわきと

ウテナの 愛の香ひ ではを生む ではい香ひ 雪郎

て一等の野印

御座

63

にも

和

申

3

\$

サテナ 等がある時れて がかよさ がから時れて がから時れて

した

各內各英

6.7-13

特等 00337 (文化住宅一棟) 等 00012 (五百圓國庫債券)

等 00319 00327 (百圓商品券) 三 等 (五十圓商品券) 00889 01209 01463 四等(十圓商品券) 00119 00177 00347 00605 00775 00941 01041 01043 01058 01086 01115 01139 01337 01400 01434

出大 し賣 當

一同は今後も鋭意の 去五日滿洲 別御後援の 御眷顧の ます。 後援の賜ご組合員一同深く御禮を申上ぐる次、聯合大賣出しを催しましたごころ、豫想外の立十五周年記念ごして陽春四月三日より六月 程併せて御願申上げます。 銳意顧客第 抽籤券が當籤にな 顧客第一を以て御奉ぶるご共に之に御報 滿洲日 ましたから御報告申上げます。報社員及一般御得意様各位御立會 **両禮を申上ぐる次第で**山の御愛顧ご滿洲日都 仕 C 仕申 3 べげ くた 何名組 末日 御 報好

入詰子



對大連若葉陸上競技

工業主 内戦立人に少戦の殊人を やうな世間が不能無ではこめつ まさしての大勢天、神脈地三萬五千 戦り、清観の を放びへたインターナショナル都市 九千面を散滅し十八萬一千國五千 戦り、清観の 1000年 1000年

馬狂奔馭者死亡

乘客一名輕傷を預ふ 安東大和橋通の

ざこさになった

五十錢

二十錢

三十錢

價

騒ぎ

看護卒配屬

があつて水血液をなし、器等に除る液底には洗べきかく

◎全國各業店にて

求め下さ

官更住宅組合 聴立際でもるが明ら見込であるが明かて被戯の選索 いて被戯の選索 が明かればいるが明かればいるが明かればいるが明かればいるが明かればいるが明かればいるが明かればいるがあるが明かればいる。

選で動物の有無に抗らす餓魔者職 出と機鳴なあげてゐるが、選に能

營產人材養成

海特別が車にて赴郷した 治 效 いたみ、筋肉のいたみ 其他すべての痛みに用ひて卓効あり

肩腰のこり、リウマチス、うちみ いたみ、乳のこり、胸咽喉の 經痛、運動つかれ、過勞の

皆様お用ひになれば 忘れたやうに快くなる 一家揃つて皆健康 一夜にして鬱血を去り

妙布の貼用により

肩のこり 筋肉のいたみ=は リウマチス



(四)

夏·日曜日

の元外型情事の揺籃に降んだ。倒機領事館に対げる日支官民の際階

邊業銀行決算

昭和六年度實行豫算

僅か二點の差で

「鐵窓に泣く女」の の勝利者 恵まれた明るい光明

上に

塚本長官一行

・ こさになつてゐる ・ 会事果、紅軽、旭、祝二利、柳玉 ・ 後錦二朝、紅玉一朝、柳玉 ・ 放し

が全性を通じて一齣五分深聚したたさころによれば左の通りである

他の被害高い地を民政署で最後し、《金州》通日の暴風雨で破った影

割五分

△製作製二割。和間制機など△機構・晩生種二割△機構・晩生種二割

遊覧に備ふべく目下野城につせめ した。 常軍は双梯戦を活撃し版の した。 常軍は双梯戦を活撃し版の した。 常軍は双梯戦を活撃し版の

果樹の被害 暴風雨で

夏まけせぬやう

6-16

ル休場

原動機の取締

九日以下の者五十名で

大家 が馬数アパート風光住へ はゴート、現内側側側が開発スチム風の付 はゴート、現内側側側が開発スチム風の付 では、中へ、風のの付 では、中へ、風のの付 では、中へ、風のの付 では、中へ、風のの付

電話四六九二番 電話四六九二番

特約配達部

金二十錢町

·電話四六九二番 一葉町六 八九二番

岡部紹介所

家政婦(孫為派遣)

電話四六八八番へ

金元特製金元特製金元特製

理話七四二九

金元商會氷部

石之外お好めに施す

飛速町一ノ海福丁

職者百五十名十日以上の養百五十名を願し月末中間続端を見るさい

りんばせん

前六時司歌に於て代はれる早趣歌

早起獎勵續行

吉林邦人戶數

*イラーの気を置か機能化してあっちの出かなかり、

要で元 拓茂 洋行 紙店 を 生産改良の三山島紙

男文 タイプ タイプ タイプ タイプ

話七八五九番

横圖稚幼場廣西 番五二三四點電

引越荷造

尺八

を以て……」さ云ふので四日正午 を以て……」さ云ふので四日正午 「在低中は駅日公私実に飲み世に 変子ぞを確へ配布した▲一寸でが がで一同大いに恐様本人田(でつてるたが駅日ぐや院に到ると はでてるたが駅日ぐや院に では、日本人中に でかってるたが駅日で、 でかってるたが駅本人田(でかってるたが駅上で、 でかってるたが駅上で、 でかってるたが駅上で、 でかってるたが駅上で、 でかってるたが駅上で、 でかってるたが駅上で、 でかった。 では、 でかった。 でがなかった。 でかった。 でかった。

五年ピル内小林綿糸布店覧とは

寫真

新四六九二香

は此印に限る

此甲に限る

吉

カフェ

取締

以上になると歌響で が工業のモーターの歌歌機械をは が工業のモーターの歌歌機械をは が工業のモーターの歌歌機械をは が工業のモーターの歌歌機械をは が一百数十節所で使用しておいて撃天響に からを開始したが、響天には底歌機では が一百数十節所で使用したもつて が信息して などで、

共產黨員押送

人力車等檢查

たが十六號十六にてドロン

トに然て揺はれ

原金組總會

七月三日午前十一時卅五分穀砂車にて共産監關線鉄人さして四十二一年は鉄人女子及び鉄人ご十餘名一名は鉄人女子及び鉄人二十餘名

夏家神子宿家水浴初の便宜を贈る。 一会に割引したる故後與車郊を の本語な機二等一個十銭、三等の 大十銭に割引したる故後與車郊を の本語など、を州夏な

夏家河子割引

性は早く治る

公學堂時員庭球

防襲陣地さして知られてゐま

からす一種の奇野でありますとは無くの山特を現せるもの場であります。

ドシーへ概要停止を喰つて其の輪に使って不良カフェー等は今後

が激励解の激手に左の短く決定してこれに膨脱することになった。

學生庭球團

遼

を いっと、 とびれ、 服つり たいれ、 服つり

(三木岡(平山)岸

安海住山

永年苦しむ

技家 皮六、六四半、二叠 電話三四五

数と関東殿より差しの取締り規則 内全部のカフエー記人を本器に招 内全部のカフエー記人を本器に招 で、解終監局さしては六日酔脈地

安奉線ところどころ

情報様、鏡、金、満権職等がある。

一般のな受けたものけ程と重配な

がくてある 「世代における際工業」 は、「の現状につき調査したさころ左の」は 普蘭店 金融機關の現況 鑛業石材は將來有望 商業殷盛ご工業不振 0) 商

商業者の機関

金融組合活躍 滿銀の支店ご

在では他に二年の小油房があるに

党田⟨金

ものは花崗森、聖森、東森、長森 に伸び襲樂材料その他一般土木用 に伸び襲樂材料その他一般土木用 も二百代以上に楽し、その主要ない、一ケ年間の出願代歌はなくさい、一ケ年間の出願代歌はなくさ 所金(金 小洋

を 関さして利用の範疇は非常に 臓い となつて 居り完全なる 庶民 金融機

石材節内の配積が瞬いた

と筋肉

日案内

古本

の創立に係るもので食む ふしいし リウ

の管験がち本年度内からは一切が全し、できってある者が多いので共紀とこれにいるべき必要の意味を整め高いので共紀をある。 女中

宿料 食事使其失月廿七國の劉 養護町空貯炭場前疆兩館電炎完 養護町空貯炭場前疆兩館電炎完 朝業五年經過、有 朝業五年經過、有 朝業五年經過、有 全的 基級的军東京東作 大樓 市濱屋釣具店 海級的军東京東作

酒生醫院

蓄音器

大津 ボーズ 天衆堂 東遮町一丁目裏通 日露洋行 東遮町一丁目裏通 日露洋行

病

時

計

責任販賣

店計時井櫻 町木乃市順體

著五九一話電

石

炭

旅順

矢商

一世帯道具 万

四商

。店

日下飯料路院

是非御楽店御票下さい御進物の好適品澤山取揃へ犠牲的大廉賣中御進物の好適品澤山取揃へ犠牲的大廉賣中尚本年は非常に億段も康く新型模様を贈訪に揃へて居ります。毎年本場製造元より直接仕入の為め安價で高評を蒙つて居ります ***岐阜灯燈、燈籠**

新古野町

登覧と四三五

作買入

三河町池内・電八六七五番

(株) は (ま) は (ま)

放 順(電七九、五五九番)

刊 近江屋吳服店

、市內共通券並に當店吳服券發賣 、蚊帳各種荷揃 盛夏衣裳 福報がウゼットン 服 報 教 か サ 服

エキホスは極めて

重富醫院 大陸四級・常盤領・西隣級中間 服話七五三人事 海陸鮮 洋服附屬品普釦類一式 產海 各學校御指定器官衙御用

安香塞入

發院 电話八二〇三番

旅順市乃木町三丁昌

中山洋服店

大〇一書比較洋行 大〇一書比較洋行

皮 軟 権 性 唐 崇 病 院醫中野

本年の夏も是非…

電話セハ六七

特に優秀なる本年の品質なごらんできい特に優秀なる本年の品質なごらんできい 麥稈一文字帽子 特值八十五錢 旅順青素町の

山 洋 行

料

亭 旅順十年

幡 "商 - 會

倉

御氣に召ます是非御下命を 値段も安く必ず皆様の

田村商會旅順支店

可蒙門市局个 **等大八一話**是

山羊の乳 大連市山東町IOK 大連市山東町IOK 上 **官何よりの榮養料 職業**

高尚で强い强い

自轉車オニ

外の服洋紗羅貨 雜 諸 なお立即度 一下しまめたい。 大連 販賣所 羊牧 店商野吉 場

店商の等吾

御中食

炎症を件ふ諸疾患

本社販賣部 (本日二一三一四七六七

產 海 物 間 屋 新 選 業

町正八商店

見るから夏 女學校御指定計 小 倉 服 輕物 間步 錦紗

凉

源荷 ル浴衣

組織が

品品

Ξ

拿葉

快絶なる演習は全市ごよめき

燎夷火、寒で斬弾(假装)展開して行くのであった、

夜は一回に一旦る燈火管制 齊應戰

亂射を浴び

上空を飛ぶ

経験の世界、数なほあさむく光の浦都は物磁い間級の世界さ化し膨塊の如き像死の礎さな験も一覧活動を開始した、配し酸機は執念く夜間し酸率したので前後二岐に般火管練が役はれに入つたのである、大連市を守れさの患痛な鳴びに放大の空を難ひ乍ら響停賦や消散隊、衛生に入つたのである、大連市を守れさの患痛な鳴びに放大の空を難ひ乍ら響停賦や消散隊、衛生に入つたのである、大連市を守れさの患痛な鳴びに放大の空を難ひ乍ら響停賦や消散隊、衛生に入ったのである、大連市を守れての患痛な鳴びに放大の空に襲ふて来た、防禦軍の飛機は直に之れる経験の処き酸機は胸震をならべてわが大連市の上空に襲ふて来た、防禦軍の飛機は直に之れる経験の処き酸機は胸震をならべてわが大連市の上空に関ふて来た、防禦軍の飛機は直に之れる経験の処き酸機は胸震をならべてわが大連市の上空に関ふて来た、防禦軍の飛機は直に之れる経験の処き酸機の地を 果して大連市は敷はれたか

九日の大連防空演習

解司令部では直に極大管制の命令にしても藤ふて來たのである。防

全市ごよめきの裡 空中戦闘開始さる 天地をあげての大混亂

か の空殿を住てた、単の如くに殿本 物 凄いた 大連全市 とながらの光景である、郷で歌像 をは更けて行く は緊ਆされなく大連市の上空から 大連全市 大連全市に

な から非職店通過 大連に除ふさの 不安さ恐怖のドン底に大連市は怯 整の 解釈(三) 所所常司令部より 養 整の解釈(三) 所所常司令部より 養 物凄い他火 の敵機空襲

もない小銃さ機関銃

一からの大連警備

總攻撃に逃げて行く敵機を

魔の如く追ふ探照燈

が始めての試みればいる。 あり防衛司令

权傷犯

手提金庫が無くなる

奉天の鮨屋惨殺事件

賣碇泊命令

本名の支那人が代つてゐる監より神 人は日本人さ支那人の概況に全れて 人は日本人さ支那人の概況に全れて 人は日本人さ支那人の概況に全れて 人は日本人で支那人の概況に全れて でである。 内殻の野沿みさは触死の でである。 内殻の野沿みさは触死の

松音田有

名ら

上々の出本

但し研究の餘地はある 厚東司令官語る つあつても満點さは云つあつても満點さは云いり感謝の意を表したいいまり感謝の意を表したいまれた結果

本精香油!

本館大阪西區和中通一三名世紀を東を襲れり東を東れり東京で東公長くつやを出し、東を襲れり東を襲れり

行二黨(第二飛行隊)就五棚が飛來する一職三黨(第一飛行隊)就五棚が飛來する一般三黨(第一飛行隊)十五五飛行隊 に報い如く佐世保衛車航空都では た世保大連開往俊飛行渡者を計畫 た六日常地争頭海運係に該々廿七 埠頭海運

五時出費大連に午後四時職都の第一五時出費大連に午後二時活費、第二飛行際に大連をお五時中出数佐世保に午後七時十五分看、第二飛行隊に大連を前上の大連を開発した。

要造販賣料種

所有)は債務關係により含地、資産に対命の机船議岐丸(三井久太、東京の地路、東京の地路、東京の地域、東京 **养**教町四四 進

りの沈默の世界だ、敵権製薬、暗がに起る「左紋百六十五度」命令は解へられた、横は右に難つた、放艦三基 距離をはかる高角膜が

れ、防備軍の高射磁

察は漸く殺氣を帯びぐるもい題種をつい

金 受領

の環防錠が製造も本月中に配布す期に入るので消儀では約二萬人分

海軍機の

飛來通知

・ 動きは

・ 動きは

・ 動きは

・ 本 が のが は、 で も から が ら が ら が ら が ら が ら の が ら 初 か ら で も から 初 か ら で も から の が ら 初 か ら で も から の が ら 初 か ら で も から の が ら 初 か ら で も から の が ら 初 か ら で も から の が ら の が

上達し易い 新研究法の發表

論郷口党院能の著るしい効果を示 赤痢患者四十二名である。こは勿

一六月中に於ける滿盤涨線を表別 に難して本年は百五十六名に激液 に難して本年は百五十六名に激液 しが感識を記した。その内が前は た本年は百五十六名に激液 大名の少数で四月以陰楽部に於て 3 ででした。 ででした。 を検索がいた。 を検索がいた。 を検索がいた。 を検索がいた。 を検索がいた。 を使いた。 を検索がいた。 を検索がいた。 を使いた。 を使いた。 を使いた。 を検索がいた。 を使いた。 をでいた。 をでいたいた。 をでいた。 をでい

滿鐵沿線の

に度自分の出験の時やつてる

夏家河子

旅順市乃木町三丁目 芝浦 三菱 話暑迫る、 は信用 櫻 御申込は、はく 井 電無は 計 型 店 天 五井 利用 + +

1

六

白炭掘

りの見學

しな人職の評判はよくないが

人の内よ

海軍燃料廠元松大佐談

日目はさなが、聖徳街デー

職数レースは支那人戦化策の一 である俱楽部の高橋潜来事をん

だからせめて一

奉天 長春 安東・拳川

神 の如く申と居り候由承り候を然本人は不行跡の故解雇なせと者なの如く申と居り候由承り候を然本人は不行跡の故解雇なせと者なれば略店に於ては一切關係無之候也 BE語でないじますのドニー (性)を重要等をが治り



集募債祉祉會式株道鐵

野村證券株式會社姓店 铁藤本門 2-銀行姓店 山一證券株式會社姓店 共同證券 株式會社 月 受銀 行 本 支 店 小池證券 株式會社 取 扱 場 所

鴻山住

鐵盤盤盤盤盤盤盤盤 第田菱井一鮮 池口友十 四

百銀銀銀銀銀金業 行行行行行行行行行行行行行

月壹日

勞代用挑込超過

方

一八適宜華入版テ定ム

込證據金

金支

期期間所

價還利

医第一五分六厘九毛除 10 五分六厘九毛除 同二間時世辺ス

壹百圓付金九拾九圓

である。さすがに整色を變へて。

蟹仙窟CIIID

幸校

や。君の長眺か?」

「大丈夫です」 「ちや平分けして迫つか けませ

からけんり 連」

七日午時七時三十分

★整語講座初等科「テキスト第四十七課」素選摩将課核交員太郎十七課」素選摩将課核交員太郎

いたからいなア。 素たまと、さんざさつき叱られた なからいなア。 を大郎地壁にモデモザお尻を掘っているかられた。

THE REPORT OF THE PARTY OF THE No History of the state of the Marie Control of the Control of the

THE WAS THE WA



氏验 田高 竹松









氏雄松野綱 家嗣學







氏治清原吉 士行飛

氏枝菊上尾 家師舞

料飲强滋

氏平晋山中 家曲作

又飲料中の最高美味として 天下に冠絶する學理的根據

酸カルシウムこを配して酸酵、造したものであれていた。こに酵母ご乳酸菌ごを加へ、糖類ご乳料でし、之に酵母ご乳酸菌ごを加へ、糖類ご乳料でし、之に酵母ご乳酸菌ごを加へ、糖類ご乳料の乳は凡て完全食である事が判りました。 人アリストテレス以來二千年、幾多の學者が之れを研究してみ「人間が何か一品だけで活きて行ける食物はないか」希臘の哲 な失敗に終りました。

を減殺する乳酸、活力を附興するヴィタミンなど何れも完全にを初め、人體の熱源となり動力となる諸種の糖類、勝胃の病菌で骨組織の素となり叉體細胞の成分となる高級のカルシウム質や骨組織の素となり叉體細胞の成分となる高級のカルシウム ります。故に 含まれてゐます。

のであつて、それは我等の舌が之を判定して過己の嗜好に最も適するものが衞生上一等役立つ のであって、 りません。

飲料に勝つて賞讃されるのは全く如上の理由に力ルピスが其の類似品や其他いろくへの 基くのであります。